公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム アニュアルレポート

# ANNUAL REPORT

KFAW

平成27(2015)年度 年報

# （公財）アジア女性交流・研究フォーラムの主な事業

第 26 回アジア女性会議－北九州（大崎麻子氏講演）

ハノイ女性連盟と北九州市の女性団体との交流

行政官のためのジェンダー主流化政策 2015

ワールドリポート「いま、世界の女性たちは～世界の行政官を囲んで～」

KFAW スタディツアー「ベトナムとカンボジアで学ぶ国際協力」

第 26 回 KFAW 研究報告会

## 北九州市立男女共同参画センター・ムーブの主な事業

ムーブ開所 20 周年記念式典

働き女子の夢をかなえるキャリアアップ講座
フォローアップセミナー「ムーブカフェ」

## 北九州市立東部勤労婦人センター（レディスもじ）の主な事業

開館 28 周年記念講演会（落合恵子氏）

子育て支援事業「ベビーマッサージ」

## 北九州市立西部勤労婦人センター（レディスやはた）の主な事業

開館 38 周年記念講演会（山口香氏）

国際交流事業「狂言・附子」

# 目　次

**公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要**
設立趣意書 …… 2
目的 …… 3
事業内容 …… 3
組織 …… 3
職員数 …… 4
役員等 …… 4
運営 …… 5

**平成 27（2015）年度実施事業**
公益目的事業Ⅰ
調査・研究事業 …… 10
交流・研修事業 …… 17
情報収集・発信事業 …… 22
国際研修事業 …… 23
公益目的事業Ⅱ
指定管理事業 …… 26
男女共同参画センター管理運営業務 …… 26
勤労婦人センター管理運営業務 …… 32
【レディスもじ】 …… 32
【レディスやはた】 …… 35
【勤労婦人センター管理業務】 …… 38
自主事業 …… 39
男女共同参画センター自主事業 …… 39
勤労婦人センター自主事業 …… 39
指定管理施設利用状況 …… 40
収益事業等
その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業 …… 44
その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業 …… 44
法人事業 …… 46

**財務諸表**
貸借対照表内訳表 …… 48
正味財産増減計算書内訳表 …… 49
財務諸表に対する注記 …… 50

**資料**
公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み …… 54
刊行物一覧 …… 61
海外とのネットワーク …… 66
施設案内 …… 67

# 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要

# 設立趣意書

今日、国際社会においては、地球的規模で、世界の平和と人類の福祉向上の実現に向けての努力が重ねられています。

女性の地位向上の面においても、一国の全面的な発展及び世界の福祉・平和のためには、女性が男性と共に、社会のあらゆる分野に参画することが必要であることが認識され、1975 年の「国際婦人年」を契機に、続く「国連婦人の十年」において「平等・開発・平和」を目標として世界的な規模での活動が活発に展開されてきました。しかし、実質的な女性の地位向上には、まだ多くの問題が残されており、国連婦人の十年以後もその精神を引き継ぎ、ナイロビ世界会議で採択された西暦 2000 年に向けての「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」に沿って、世界各地で目標達成のための努力が続けられています。

女性問題は、女性が単に女性であるということから生じるさまざまな不利益、不平等の問題であり、基本的人権、人間の尊厳にかかわる問題であります。その意味において、女性問題は女性だけの問題ではなく、男性を含む社会全体の、世界的に共通な問題であるといえます。このような観点から、現在、女性の視点が反映されることの少なかった従来の社会のありかたの再構築の必要性が認識され、男女共同参画による社会づくりが強く求められています。特に、開発途上国においては、国の開発の推進と開発における女性の参画が重要な問題となっています。

このような女性問題に対する認識と国際婦人年以来のさまざまな活動をふまえ、北九州市のふるさと創生事業を契機にアジア女性交流・研究フォーラムは事業を開始しました。以来、女性の地位向上とアジア地域の連帯・発展の核として機能することを目指して、日本及び他のアジア地域の女性問題に関する調査・研究及び情報の収集・提供、あるいは開発途上国の人材養成のための研修ならびに相互理解を促進するための国際交流などの活動を行ってきました。

国際社会が相互依存の関係を強め、日本の国際的役割がいっそう重要になるなかで、わたしたちは、アジア女性交流・研究フォーラムの事業の使命と意義を更に深く認識し、安定的な財政基盤の確保と、これまでの活動の一層の充実を図り、日本における女性問題の所在をより明確にするとともに、アジアの女性の地位向上に更に寄与することを念願し、ひいては、国際婦人年以降の目標である「平等・開発・平和」を達成するため、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムを設立いたします。（1993 年起草）

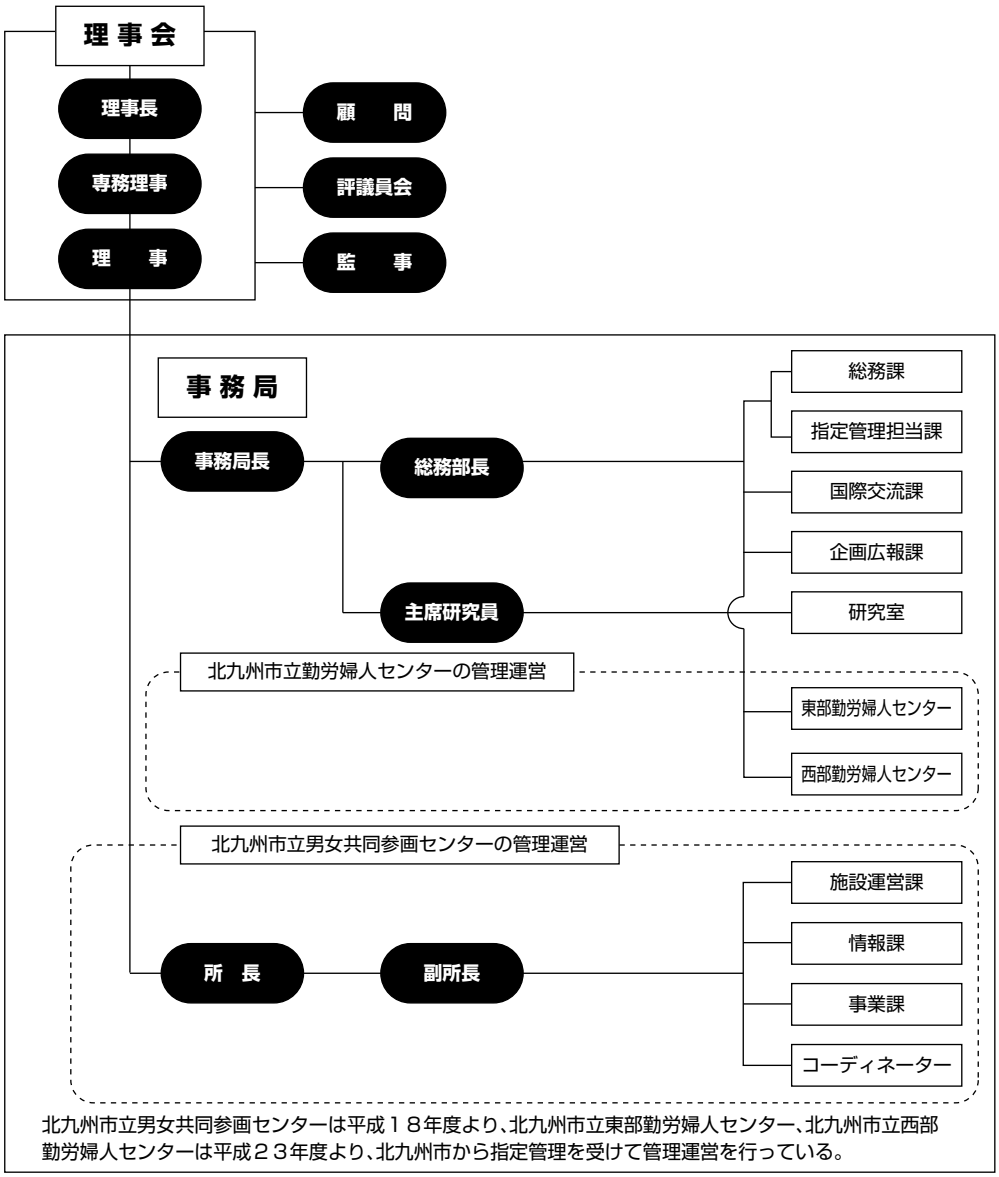
## 目　的

日本及び他のアジア諸国のジェンダー（社会的性別）問題に関する調査研究及び国際交流等を行うとともに、男女共同参画社会の形成の推進に関する取り組みを支援することにより、女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、もって、日本及び他のアジア地域相互の発展に寄与することを目的とする。

## 事業内容

⑴　ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての調査・研究
⑵　ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての国際交流・研修
⑶　ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての情報収集・発信
⑷　北九州市立男女共同参画センター及び北九州市立勤労婦人センター（東部・西部）の管理・運営
⑸　その他、本財団の目的を達成するために必要な事業

## 組　織



## 職員数

平成 28 年 3 月 31 日現在

| 区分 | | 所長 | 事務局長 | 部長級 | 課長級 | 職員 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市派遣職員 | | | | 2 | 3 | 1 | 6 |
| | うちムーブ職員※1 | | | 1 | 2 | | 3 |
| | うちレディス職員※2 | | | | | | |
| 市 OB | | | (1)※4 | 1 | | | 1 |
| | うちムーブ職員※1 | | | | | | |
| | うちレディス職員※2 | | | | | | |
| 嘱託職員 | | | | | 5 | 29 | 34 |
| | うちムーブ職員※1 | | | | 1 | 15 | 16 |
| | うちレディス職員※2 | | | | 2 | 7 | 9 |
| その他（役員との兼務） | | 1※3 | | | | | 1 |

※１　北九州市立男女共同参画センター・ムーブの管理運営に従事する職員
※２　北九州市立勤労婦人センター（レディスもじ、レディスやはた）の運営に従事する職員
※３　所長は専務理事が兼務する。
※４　事務局長は総務部長が兼務するため、（　）表記により、計には含まない。

## 役員等（五十音順）

平成 28 年 3 月 31 日現在

理事長

堀内　光子

専務理事

西本　祥子

理事

小川　健一郎　　公益財団法人北九州 YMCA 理事長
北野　久美　　北九州市保育士会会長
窪田　由紀　　名古屋大学教授
田村　慶子　　北九州市立大学教授
湯淺　墾道　　情報セキュリティ大学院大学学長補佐・教授、北九州市男女共同参画審議会副会長

監事

西妻　安治　　株式会社福岡銀行常務取締役北九州本部長
松原　英治　　北九州市会計室長

顧問

| | |
|---|---|
| 小川　洋 | 福岡県知事 |
| 北橋　健治 | 北九州市長 |
| 原　ひろ子 | 元財団法人アジア女性交流・研究フォーラム会長 |

評議員

| | |
|---|---|
| 梅本　和秀 | 北九州市副市長 |
| 加藤　美佐子 | 北九州市婦人会連絡協議会会長 |
| 近藤　倫明 | 北九州市立大学学長 |
| 戴　二彪 | 公益財団法人アジア成長研究所研究部長 |
| 冨安　兆子 | 高齢社会をよくする北九州女性の会代表 |
| 羽田野　隆士 | 北九州商工会議所専務理事 |
| 原田　美紀 | 弁護士 |
| 平田　トシ子 | 前　北九州市男女共同参画審議会会長 |
| 藤岡　佐規子 | 北九州市保育士会名誉会長 |
| 松村　佐和子 | 北九州市女性団体連絡会議会長 |
| 三隅　佳子 | 国連ウィメン日本協会北九州会長 |

## 運　営

1　理事会

⑴　第 1 回理事会（みなし決議）

決議があったとみなされた日　　平成 27 年 4 月 27 日（月）

議　　案　　平成 27 年度臨時評議員会（みなし決議）の開催について

議事結果　　議案可決

⑵　第 2 回理事会

開 催 日　　平成 27 年 6 月 4 日（木）14：00 ～ 15：15

場　　所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　5 階小セミナールーム

出席者数　　6 名

議　　案　　・平成 26 年度事業報告及び決算について

・公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム就業規則の一部改正について

・平成 27 年度定時評議員会の招集の決定について

議事結果　　全議案可決

⑶　第３回理事会（みなし決議）

決議があったとみなされた日　　平成 27 年 6 月 19 日（金）

議　　案　　・代表理事１名選定の件

（代表理事堀内光子氏の任期満了に伴いこれを再任すること）

・専務理事１名選定の件

（専務理事西本祥子氏の任期満了に伴いこれを再任すること）

議事結果　　全議案可決

⑷　第４回理事会（みなし決議）

決議があったとみなされた日　　平成 27 年 8 月 20 日（木）

議　　案　　平成 27 年度臨時評議員会（みなし決議）の開催について

議事結果　　議案可決

⑸　第５回理事会

開 催 日　　平成 28 年 3 月 11 日（金）14：00 ～ 15：45

場　　所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　5 階小セミナールーム

出席者数　　9 名

議　　案　　・公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム就業規則及び公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム職員給与規程の一部改正の専決処分の報告について

・公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム職員給与規程の一部改正について

・公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム特定個人情報等取扱規程の制定について

・公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム個人情報保護規程の一部改正について

・公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム財務会計規程の一部改正について

・平成 27 年度日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業会計の補正予算について

・平成 28 年度事業計画及び収支予算について

議事結果　　全議案可決

２　評議員会

⑴　臨時評議員会（みなし決議）

決議があったとみなされた日　　平成 27 年 5 月 12 日（火）

議　　案　　監事の選任について（松原英治氏を監事とする）

議事結果　　議案可決

⑵　定時評議員会

開 催 日　　平成 27 年 6 月 19 日（金）10：30 ～ 11：30

場　　所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　5 階小セミナールーム

出席者数　　12 名

議　　案　　・平成 26 年度決算について

・理事の選任について

・専務理事の報酬の額の決定について

議事結果　　全議案可決

⑶　臨時評議員会（みなし決議）

決議があったとみなされた日　　平成 27 年 9 月 4 日（金）

議　　案　　評議員の選任について（梅本和秀氏を評議員とする）

議事結果　　議案可決

# 平成 27（2015）年度実施事業
# 公益目的事業Ⅰ

**日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、**
**国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業**

**【概況】**

平成 2 年 10 月に設立、平成 5 年 10 月に労働省（現厚生労働省）の認可を受け財団法人となり、平成 25 年 4 月 1 日に公益財団法人に移行したアジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、国際婦人年以降の目標である「平等・開発・平和」の達成のため、これまで様々な活動を展開してきた。

平成 27 年度は、10 月 31 日に「第 26 回アジア女性会議－北九州」を開催し、「女性の活躍推進に向けて～アジアと連携して」をテーマにアジアを含めたグローバルな視点に立った女性の活躍について課題や将来像、事例等の紹介、情報・意見交換等を行い、翌 11 月 1 日に北九州市内で、ベトナム・ハノイ女性連盟の 3 名の役員と北九州市内の女性団体との交流会を実施した。

また、海外から行政官を招へいし、ワールドリポートの開催や交流事業を実施した。

さらに、「大学生のためのキャリア形成」をテーマとした出前講座プログラムを作成し、市内大学 4 校と市内高校 1 校において講義を実施したほか、国際協力とジェンダーをテーマとしたスタディツアーを実施した。

## 1　調査・研究事業

調査・研究事業では、研究員研究、KFAW 客員研究員による調査研究を行うとともに、KFAW アジア研究者ネットワーク活動による調査研究活動の充実、プログラム開発やセミナーなどの開催による研究成果の発信を行った。実施した調査研究結果や外部の専門家による研究成果を広く共有・発信し、ネットワーク化を図り、実践的なプログラム開発に生かし、男女共同参画社会づくりに貢献した。

### ⑴　研究員研究

KFAW 研究員により、「公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム実施計画」及び「第 3 次北九州市男女共同参画基本計画」を踏まえ、次のとおり研究を行っている。

ア　主席研究員研究

㈠　研究テーマ

「地域社会における女性団体の活動と男女共同参画社会の推進について」

㈡　研究の概要

北九州市の女性団体の地域における活動を推進し、男女共同参画社会の形成に資するために、市内外やアジア諸国の女性団体について、団体の設立経緯や組織形態、現在の活動の実態を調査し、その課題や今後の展望などを分析した。

イ　研究誌の刊行

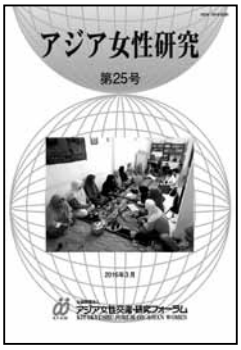
KFAW 研究員及び客員研究員の論文を収録した研究誌『アジア女性研究』、『KFAW 調査研究報告書』を刊行した。

・『アジア女性研究』第 25 号　500 部

・『KFAW 調査研究報告書』Vol.2015-1 「地域社会における女性団体の活動に関する研究―北九州市の女性団体を中心に―」 100 部

・『KFAW 調査研究報告書』Vol.2015-2 「移住によって潜在能力は発揮できるか？―ジェンダーの視点で見た滞日ネパール人の特徴―」 100 部

・『KFAW 調査研究報告書』Vol.2015-3 「台湾・マレーシアにおける暴力被害者支援の研究」 100 部




『アジア女性研究』第 25 号

『KFAW 調査研究報告書』Vol.2015-1、2015-2、2015-3

ウ　研究報告会の開催

第 26 回 KFAW 研究報告会、第 27 回 KFAW 研究報告会を開催した。

(ア)　第 26 回 KFAW 研究報告会

①　日時　　平成 27 年 6 月 12 日（金）18:00 ～ 20:00

②　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③　報告内容、報告者

(a)「北九州市の男女共同参画関連団体の生い立ちと活動」

KFAW 主席研究員　神﨑智子

北九州市の女性（男女共同参画）政策と女性団体の結成及び活動の相互関連について報告した。

(b)「ネパール地震と現地 NGO の活動」

H26/27KFAW 客員研究員　上智大学総合グローバル学部准教授　田中雅子

H26/27KFAW 客員研究員　福岡県立大学人間社会学部准教授　佐野麻由子

ネパール地震直後の現地の状況と NGO の活動について報告を行った。

④　参加者　42 名

(イ) 第 27 回 KFAW 研究報告会

① 日時　　平成 28 年 2 月 14 日（日）13:00 ～ 16:30

② 場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③ 報告内容、報告者

(a) 「地域社会における女性団体の活動―日本及びインドネシアの事例―」

KFAW 主席研究員　神﨑智子

日本及びインドネシアの事例をもとに、北九州市の主だった女性団体の組織や活動の課題と今後の展望に関する研究報告を行った。

(b) 「移住によって潜在能力は発揮できるのか？―ジェンダーの視点で見た滞日ネパール人の特徴―」

H26/27KFAW 客員研究員

福岡県立大学人間社会学部准教授　佐野麻由子

H26/27KFAW 客員研究員

上智大学総合グローバル学部准教授　田中雅子

近年増加しているネパール人滞在者について、滞在者の動向、受入側の状況、来日後のセイフティネットや滞在者の生活の質などに関する研究の報告を行った。

(c) 「台湾・マレーシアにおける暴力被害者支援の研究」

H26/27KFAW 客員研究員　広島大学ハラスメント相談室准教授　北仲千里

H26/27KFAW 客員研究員　関西福祉科学大学健康福祉学部講師　松村歌子

アジアにおいて先進的な取り組みをしている台湾とマレーシアの DV の実情と被害者支援の実態についての研究報告を行った。

④ 参加者　45 名

第 27 回 KFAW 研究報告会

## (2) 客員研究員研究

KFAW の研究部門の研究をさらに強化するため、客員研究員への委託による調査研究を実施した。2 組の客員研究員（H26/H27 客員研究員）が前年度からの研究を継続し、平成 28 年 2 月、KFAW 研究報告会で研究の成果を発表するとともに、2 年間の研究をまとめた調査研究報告書を作成した。

ア　H26/H27 年度 KFAW 客員研究員と研究テーマ

(ア) 「台湾・マレーシアにおける女性に対する暴力被害者支援の研究」

広島大学ハラスメント相談室准教授　北仲千里

神奈川大学法学部教授　井上匡子

室蘭工業大学大学院工学研究科准教授　清末愛砂

立命館大学法心理・司法臨床センター専任研究員　金成恩

関西福祉科学大学健康福祉学部講師　松村歌子

北海道大学大学院法学研究科助教　李妍淑

(イ)「滞日ネパール人女性にとっての社会的包摂とは：セイフティネットの活用に関する研究」
福岡県立大学人間社会学部准教授　佐野麻由子
上智大学総合グローバル学部准教授　田中雅子
ポウラキネパール（Pourakhi Nepal）代表　マンジュ・グルン

## (3) KFAW アジア研究者ネットワーク活動

ア　アジア研究者によるセミナーの開催

北九州市及び近郊に在住するさまざまな分野の研究者や実務者が、アジア地域を中心とする活動の成果を共有するため、ジェンダーの視点から議論するセミナーなどを開催するとともに、KFAW 研究者のネットワークの拡大、充実を図った。

(ア) 平成 27 年度第 1 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

① テーマ　「外国人ケア労働者の受入れをめぐって」
② 日時　平成 27 年 11 月 25 日（水）18:00 ～ 20:00
③ 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
④ 講師　小川玲子
（九州大学比較社会文化研究院准教授）
⑤ 参加者　29 名
⑥ 内容　外国人ケア労働者を受け入れた現場はどのようになっているのか、またケア労働者の国際移動にとって望ましい仕組みとはどのようなものなのか、日本と台湾の比較を通じて参加者と共に考えた。

平成 27 年度第 1 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

(イ) 平成 27 年度第 2 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

① テーマ　「女のセンタク　布ナプキン Life はじめてみませんか？」
② 日時　平成 27 年 12 月 20 日（日）10:30 ～ 12:30
③ 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
④ 講師　四方由美（宮崎公立大学人文学部教授）
⑤ 参加者　15 名
⑥ 内容　参加者同士でグループワークを行い、布ナプキンについて使用の経験の有無や、使用の際工夫していることや不安なこと、生理の悩みなど性と生殖について話し合った。

平成 27 年度第 2 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

(ウ) 平成 27 年度第 3 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー
（インドネシア人看護師の受入れ支援とインドネシアの女性のくらし）

① テーマ 「医療における国際交流の役割」
「インドネシア人看護師の再チャレンジ支援」
「インドネシアの女性のくらし」

② 日時 平成 28 年 2 月 28 日（日）13:30 ～ 16:00

③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

④ 講師 原田嘉和（北九州市小倉医師会外国人看護師支援事業担当理事）
石田佳奈子（北九州市小倉医師会外国人看護師支援事業担当教員）
神﨑智子（KFAW 主席研究員）

⑤ 参加者 48 名

⑥ 内容 経済連携協定（EPA）により来日し、看護師国家試験に合格できずに帰国した候補生たちの再受験を支援している北九州市小倉医師会の活動を紹介した。

また、今年度インドネシアの調査を行った KFAW 研究員が現地の女性のくらしについて報告を行った。

平成 27 年度第 3 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

イ キャリア形成のためのプログラム開発

(ア) 大学生のキャリア形成のためのプログラム開発

「大学生のためのキャリア形成」をテーマとして開発したプログラムを使用した授業を市内大学 4 校において実施した。また、新たに高校生向けプログラムのモデル授業として市内高校 1 校で特別授業を行った。

① 第 1 回授業

(a) 日時 平成 27 年 6 月 15 日（月）14:40 ～ 16:10

(b) 場所 西南女学院大学

(c) 講師 湯淺墾道（情報セキュリティ大学院大学学長補佐・教授）

(d) 参加者 173 名

② 第 2 回授業

(a) 日時 平成 27 年 6 月 19 日（金）14:40 ～ 16:10

(b) 場所 西南女学院大学

(c) 講師 大島まな（九州女子大学人間科学部教授）

(d) 参加者 167 名

③ 第 3 回授業

(a) 日時 平成 27 年 6 月 23 日（火）16:20 ～ 17:50

(b) 場所 九州国際大学

(c) 講師 土谷和子（株式会社ゼンリン総務人事企画部副長）

(d) 参加者 34 名

④　第 4 回授業

(a)　日時　　平成 27 年 6 月 29 日（月）10:45 ～ 12:15

(b)　場所　　九州共立大学

(c)　講師　　平井良知（KFAW 企画広報課長）

(d)　参加者　203 名

⑤　第 5 回授業

(a)　日時　　平成 27 年 6 月 30 日（火）14:50 ～ 16:20

(b)　場所　　九州共立大学

(c)　講師　　大島まな（九州女子大学人間科学部教授）

(d)　参加者　242 名

⑥　第 6 回授業

(a)　日時　　平成 27 年 10 月 29 日（木）9:00 ～ 10:30

(b)　場所　　西日本工業大学

(c)　講師　　神﨑智子（KFAW 主席研究員）

(d)　参加者　30 名

⑦　第 7 回授業

(a)　日時　　平成 27 年 12 月 25 日（金）13:00 ～ 14:30

(b)　場所　　九州国際大学

(c)　講師　　力武由美（北九州市立男女共同参画センター・ムーブコーディネーター）

(d)　参加者　47 名

⑧　第 8 回授業

(a)　日時　　平成 27 年 12 月 25 日（金）14:40 ～ 16:10

(b)　場所　　九州国際大学

(c)　講師　　力武由美（北九州市立男女共同参画センター・ムーブコーディネーター）

(d)　参加者　47 名

⑨　高校での特別授業

(a)　日時　　平成 27 年 8 月 6 日（木）9:30 ～ 10:00

(b)　場所　　福岡県立若松高等学校

(c)　講師　　平井良知（KFAW 企画広報課長）

(d)　参加者　30 名

(イ) 市内製造業の女性活躍推進に関する調査の実施

市内の製造業における女性活躍推進の状況を把握し、次年度のプログラム開発に繋げるために、「市内製造業の女性活躍推進に関する調査」を実施した。

① 実施期間　平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

② 実施機関　北九州市立大学地域戦略研究所

③ 調査内容　「市内製造業の女性活躍推進に関する調査」

市内の製造業 21 社を訪問し、①女性社員の雇用状況、雇用阻害要因、ポジティブアクションの有無、②女性管理職の登用状況、登用阻害要因、ポジティブアクションの有無、③女性活躍推進に向けた取り組み（方針・計画、課題）についてヒアリング調査を実施した。

(ウ) デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ研修

一般市民向けの DV 防止講演会と、デート DV 予防教育のファシリテーター及びデート DV 予防教育に参加する意思のある人を対象とした研修を実施した。

① 第一部　DV 防止講演会

(a) テーマ　「全ての女性、子どもたちへの暴力をなくすために」

(b) 日時　平成 27 年 9 月 19 日（土）10:00 ～ 12:00

(c) 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

(d) 講師　倉富史枝（NPO 法人福岡ジェンダー研究所理事）

(e) 参加者　45 名

DV 防止講演会

② 第二部　ファシリテーター・フォローアップ講座

(a) テーマ　「デート DV 防止のための最適な教材について」

(b) 日時　平成 27 年 9 月 19 日（土）13:00 ～ 16:30

(c) 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

(d) 講師　倉富史枝（NPO 法人福岡ジェンダー研究所理事）

(e) 参加者　24 名

## 2　交流・研修事業

平成 27 年度は、10 月 31 日に「女性の活躍推進に向けて～アジアと連携して」と題し、「第 26 回アジア女性会議－北九州」を開催した。翌 11 月 1 日は、アジア女性会議で招へいしたベトナム・ハノイ女性連盟のグエン・ティ・トエット副会長ほか 2 名の役員と北九州市の女性団体との交流会を開催した。

### ⑴ 「アジア女性会議－北九州」等の国際セミナーの開催

ア　アジア女性会議－北九州

基調講演に開発政策・ジェンダー専門家として政府関係機関、国際機関、NGO、研究機関等で幅広く活動中の大崎麻子氏を招き、日本及びアジア地域の女性活躍の未来像と現代の課題について講演した。つづくパネルディスカッションでは、海外（香港、ベトナム）のパネリストからアジアの女性活躍の現状を学び、更に日本のパネリストから体験談や日本の女性活躍の現状を聞くことで、今後の女性活躍推進について理解を深めた。

㈠　国際シンポジウム『第 26 回アジア女性会議―北九州』の開催

①　日時　　平成 27 年 10 月 31 日（土）13:30 ～ 16:00　日英越同時通訳

②　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③　参加者　159 名

④　基調講演　大崎麻子（関西学院大学総合政策学部客員教授・プラン・ジャパン理事）

⑤　パネルディスカッション

＜パネリスト＞

大崎麻子（関西学院大学総合政策学部客員教授・プラン・ジャパン理事）
グエン・ティ・トエット（ベトナム・ハノイ女性連盟副会長）
クレール・ロー（香港基本法運営委員会委員・金融紛争解決評議会委員）
甲木正子（西日本新聞社北九州本社営業部長）
湯淺墾道（情報セキュリティ大学院大学学長補佐・教授）

＜コーディネーター＞

堀内光子（KFAW 理事長）

⑥　報告書の発行

会議の詳細を『第 26 回アジア女性会議―北九州　報告書』として発行した。

大崎麻子氏の基調講演の様子

パネルディスカッションの様子

イ　国際理解促進事業

男女共同参画社会の実現に向け、女性の地位向上を図るには、あらゆる立場の人びとと相互理解を深めることが必要不可欠である。今年度は、国際理解セミナー「KFAW 領事館シリーズ」を継続して実施し、在北九州英国名誉領事及び駐福岡大韓民国総領事館の副総領事が男女共同参画事情を分かりやすく解説するセミナーを開催したほか、海外 4 カ国の行政官を北九州市に招へいし、ワールドリポートや市内学生との交流事業を実施した。また、第 59 回国連女性の地位委員会（CSW59）帰国報告会を開催した。

㈠　国際理解セミナー「KFAW 領事館シリーズ 6　英国名誉領事が語るイギリスとニッポン」

①　日時　　平成 27 年 8 月 18 日（火）15:00 ～ 16:30
②　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
③　講師　　ローレンス・チヴァス
　　（在北九州英国名誉領事）
④　参加者　113 名

KFAW 領事館シリーズ 6（イギリス）

㈡　国際理解セミナー「KFAW 領事館シリーズ 7　韓国を知る、日韓友好を深める」

①　日時　　平成 28 年 3 月 4 日（金）16:00 ～ 17:30
②　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
③　講師　　朴起準（パク・キジュン）
　　（駐福岡大韓民国総領事館副総領事）
④　参加者　37 名

KFAW 領事館シリーズ 7（韓国）

㈢　海外行政官招へい事業

①　期間　　平成 28 年 1 月 21 日（木）～ 24 日（日）
②　招へい者　フランシスカ・アツルク
　　（ジェンダー・児童及び社会保護省アシスタントディレクター／ガーナ）
　　アナ・クリスティーナ・カスタネダ・ネリオ
　　（女性の能力開発のためのエルサルバドル協会／エルサルバドル）
　　チュム・ハック・テ
　　（カンボジア女性省ジェンダー平等・経済開発局副局長／カンボジア）
　　カーンティ・ヘママレー・ウィジェトゥンゲ
　　（スリランカ公共サービス委員会委員／スリランカ）

(a) 市内大学生との共同企画による国際交流プログラム

国際協力に関する次世代人材育成の一環として、市内大学生との共同企画による国際交流プログラムを実施した。大学生 7 名が市内の文化施設等を英語で紹介しながら行政官 4 名との交流を行った。

(1) 日時　平成 28 年 1 月 22 日（金）9:00 ～ 14:00
(2) 場所　北九州市内（八幡、小倉）
(3) 参加者　市内大学生 7 名
（西南女学院大学 4 名、九州国際大学 3 名）

行政官との
国際交流プログラムの様子

(b) 市内大学での特別授業

西南女学院大学との共同企画として、行政官 4 名による英語での特別授業を実施した。

人文学部の 1 年生を対象に、各国のジェンダー問題や文化について紹介し、学生たちと行政官たちとの国際交流を行った。

(1) 日時　平成 28 年 1 月 22 日（金）14:40 ～ 16:10
(2) 場所　西南女学院大学
(3) 参加者　西南女学院大学人文学部 1 年生 40 名

特別授業の様子（西南女学院大学）

(エ) ワールドリポート「いま、世界の女性たちは～世界の行政官を囲んで～」

① 日時　平成 28 年 1 月 23 日（土）13:00 ～ 16:00
② 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
③ 参加者　91 名
④ パネリスト 招へい事業で招へいした海外の行政官 4 名
（ガーナ、エルサルバドル、カンボジア、スリランカ）
⑤ コーディネーター　小川玲子（九州大学比較社会文化研究院准教授）

ワールドリポート

(オ) 第 59 回国連女性の地位委員会（CSW59）帰国報告会

① テーマ 「CSW59 北京＋ 20　について」
「女子差別撤廃委員会（CEDAW）とジェンダーに基づく暴力（GBV）：北京会議から 20 年の成果と課題」
② 日時　平成 27 年 5 月 15 日（金）18:30 ～ 20:00
③ 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
④ 講師　堀内光子（KFAW 理事長）
⑤ 参加者　39 名

第 59 回国連女性の地位委員会
帰国報告会

### ⑵　海外拠点ネットワークの形成

海外のジェンダー関連組織に共通する課題の解決や女性の地位向上、男女共同参画社会の実現に向けた恒常的な海外ネットワークの形成を目指し、ベトナム・ハノイ女性連盟の 3 名の役員と北九州市内の女性団体との交流会を実施した。

ア　ハノイ女性連盟と北九州市の女性団体との交流会

平成 25 年から相互理解を目的にベトナム・ハノイ女性連盟との交流を促進し、「第 26 回アジア女性会議－北九州」でパネリストとして招へいしたハノイ女性連盟のグエン・ティ・トエット副会長ほか 2 名の役員と北九州市の女性団体との交流会を北九州市で開催し、相互の活動内容や情報交換を行った。

ハノイ女性連盟と北九州市の
女性団体との交流会の様子

㈠　日時　　平成 27 年 11 月 1 日（日）

㈡　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

㈢　参加者　グエン・ティ・トエット（ハノイ女性連盟副会長）
レ・ティ・ティエン・フォン（ハノイ女性連盟副会長）
ズオン・ティ・リ・アン（ハノイ女性連盟法務・政策委員長）
北九州市の 5 つの女性団体の代表者
・北九州市女性団体連絡会議
・北九州市食生活改善推進員協議会
・北九州市保育士会
・日本 BPW 連合会北九州クラブ
・生涯学習指導者育成ネットワーク　合計 12 名

イ　カンボジア視察

JICA 研修で長年研修来日しているカンボジアの女性省を訪問し、当財団が行った研修の効果などのヒアリングを省内で行うと同時に、ジェンダー平等を推進すべく活動する NGO や女性向けの技術研修及び職業訓練施設などの視察を行った。

カンボジア視察での打合せ風景

㈠　日時　平成 27 年 11 月 29 日（日）～ 12 月 4 日（金）

㈡　場所　カンボジア・プノンペン特別市

### ⑶　海外派遣

平成 28 年 3 月にニューヨークで開催された第 60 回国連女性の地位委員会（CSW60）へ参加するための登録の機会を賛助会員に提供した。

・派遣人数 11 名

## ⑷ スタディツアー

「ベトナムとカンボジアで学ぶ国際協力」をテーマに、関心のある市民を公募してベトナム／カンボジア・スタディツアーを実施した。

ア　事前学習会

㈠ 日時　平成 27 年 8 月 1 日（土）14:00 ～ 16:30

㈡ 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

㈢ 内容　日本とベトナム／カンボジアとの関係について
スタディツアーの概要説明と安全管理／注意事項など

㈣ 講師　井﨑宏（JICA 九州国際センター所長）
藤井大輔（九州国際大学国際関係学部准教授）
平井良知（KFAW 企画広報課長）

㈤ 参加者　17 名（スタディツアー参加予定者）

イ　スタディツアー

㈠ 期間　平成 27 年 9 月 5 日（土）～ 9 月 12 日（土）

㈡ 場所　ベトナム（ハイフォン市、ハノイ市）、カンボジア（シェムリアップ市）

㈢ 内容
① ハイフォン私立大学との交流
② ハイフォン市外務局訪問、海岸清掃ボランティア活動
③ ハノイ女性連盟及びマイクロクレジット機関訪問
④ JICA ベトナム訪問、TOTO ベトナムの工場見学
⑤ カンボジアの小学校訪問、JVC の農村女性支援現場見学　ほか

㈣ 参加者　16 名

ハイフォン私立大学での交流の様子

ウ　帰国報告会

㈠ 日時　平成 27 年 10 月 11 日（日）14:00 ～ 15:30

㈡ 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

㈢ 内容　訪問先の概要やツアーで学んだこと

㈣ 報告者　ツアー参加者（九州国際大学生）10 名

㈤ 参加者　30 名

帰国報告会

## 3　情報収集・発信事業

情報誌『Asian Breeze』の発行、KFAW ホームページや facebook ページの更新、海外通信員事業を実施して、アジア・太平洋諸国を中心とした地域の情報収集や発信に努めた。

### (1)　情報誌『Asian Breeze』等の発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報提供し、ジェンダー問題についての理解を深めるとともに、国内外の公的女性関係機関、研究者や NGO などとのネットワークづくりを目指して、日本語と英語で情報誌『Asian Breeze』を発行した。

また、KFAW の活動の PR・記録用として、年間事業報告書『アニュアルレポート 2014』を作成した。

ア　情報誌『Asian Breeze』の発行

(ア)　発行部数　　日本語版 4,000 部、英語版 3,000 部

(イ)　発行回数・時期　第 74 号　平成 27 年 6 月
　　第 75 号　平成 27 年 10 月
　　第 76 号　平成 28 年 3 月

(ウ)　送付先　　市内公共施設のほか、国内・海外女性関連団体及び研究機関、在日大使館、国連機関、国際関係団体など

『Asian Breeze』

イ　年間事業報告書の作成

フォーラム活動のＰＲ・記録用として、年間事業報告書『公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム　アニュアルレポート 2014』を作成した。

(ア)　発行部数　　日本語版 400 部、英語版 50 部

(イ)　発行時期　　平成 27 年 8 月（日本語版）、11 月（英語版）

### (2)　海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外における女性の状況について情報収集を行うとともに、ネットワークを広げることを目指して、アジア・太平洋諸国在住者を中心に世界各国から毎年一定のテーマをもとに海外通信員を公募し、現地の最新情報をリポートしてもらっている。平成 27 年度は第 25 期海外通信員が活動を行った。通信員から提出されたリポートの一部は、情報誌『Asian Breeze』やホームページ、facebook などに掲載した。

ア　人数　　6 カ国 6 名（インド、モンゴル、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリランカ）

イ　任期　　平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

ウ　リポート回数　3 回

## 4　国際研修事業

### ⑴　JICA 研修　行政官のためのジェンダー主流化政策 2015

開発途上国の中央政府及び地方政府における政策、計画、実施、評価におけるジェンダー主流化と女性のエンパワーメントを図るため、日本におけるジェンダー主流化の取り組み事例を学ぶことにより、ジェンダー主流化に携わる行政官の課題解決能力の向上を目的に、独立行政法人国際協力機構九州国際センター（JICA 九州）の委託を受けて研修を実施した。

ア　研修概要

㈠　期間　　平成 27 年 6 月 12 日（金）～ 7 月 8 日（水）

㈡　場所　　独立行政法人国際協力機構九州国際センター　他

㈢　研修員　7 カ国 7 名（カンボジア、エルサルバドル、ナイジェリア、ネパール、東ティモール、パプアニューギニア、サモア）

研修中の様子

ワークショップの様子

イ　市民交流会の開催

研修員と市民との交流を図り、ジェンダー問題を市民と考えるため、JICA 九州で実施されている「クロスロード・コミュニケーション」の中の「異文化理解セミナー」において市民交流会を実施した。

㈠　日時　　平成 27 年 6 月 13 日（土）17:30 ～ 18:30

㈡　場所　　独立行政法人国際協力機構九州国際センター

㈢　コーディネーター　石川真里子（KFAW 国際交流課長）

㈣　参加者　　91 名

# 公益目的事業Ⅱ

## 男女共同参画に関する事業を通して男女共同参画社会の形成を推進する事業

**【概況】**

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成23年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブに加え、北九州市立東部勤労婦人センター（レディスもじ）及び北九州市立西部勤労婦人センター（レディスやはた）の管理運営等を指定管理者として行っている。平成27年度も引き続き、北九州市立男女共同参画センターの管理運営で培ったこれまでの経験や東部及び西部勤労婦人センターの実績や地域との関係を踏まえ、男女共同参画社会の推進を担う拠点施設3館を有機的に連携させながら各種事業を実施した。なお、平成28年度から平成32年度までの5年間の新たな指定管理の指定も決定している。

### 1　指定管理事業

#### (1)　男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、「ムーブ開所20周年記念ムーブフェスタ2015」の開催、相談事業、情報事業、施設管理業務を行った。

ア　男女共同参画事業

(ア)　ジェンダー問題講座（4事業、参加延人数1,553名）

男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について啓発を行い、取り組みを促進した。

①　男女共同参画講座

・「山の動く日来る～ワーキングマザー『与謝野晶子』の生き方～」
　講師：松村由利子（歌人・フリーライター）

・ムーブ・レディス映画祭“しなやかに、自分らしく”
　映画「ミス・ポター」＆樋口智巳さんのお話
　講師：樋口智巳（小倉昭和館館主）

②　おとこのライフセミナー
「夢を追いかけて」
　講師：秋山幸二（前福岡ソフトバンクホークス監督）　ほか

(イ)　就業支援講座（15事業、参加延人数5,415名）

女性のキャリアアップや経済的自立に向けたチャレンジ、また働き続けることを支援するため、キャリア意識の醸成や就業に係わるスキルの向上を図る講座、就業の機会を拡げるための再就職、起業等に関する講座を開催した。

①　働き女子の夢をかなえるキャリアアップ講座（次世代リーダー養成講座）、フォローアップセミナー

②「私の事業」スタート講座～女性起業家支援塾2015～、フォローアップセミナー　ほか

㈠ 生活技術講座（6 事業、参加延人数 852 名）

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

① 男性向け講座（エプロン男子、ケアメン養成講座、おとこのライフシリーズ）

② ムーブ・レディス連携事業　俺メシ「小倉焼きうどん」 ほか

イ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（5 事業、参加延人数 10,060 名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」に関する講座等を開催した。

㈠ 健康講座「心身ともにリフレッシュ！！シェイプアップヨガ」、オトナ女子の更年期サポート講座

㈡ リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座（出前講座） ほか

ウ　市民活動支援・連携事業（3 事業、参加延人数 450 名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

㈠ ムーブ学生活動プロジェクト（まなびと ESD ステーション　ガーベラプロジェクト）

㈡ ムーブサポーター事業　ほか

エ　ムーブ開所 20 周年記念　ムーブフェスタ 2015

全体のテーマが「はばたく」、キャッチコピーは「20 年の想いを込めて、いま、ここから未来へはばたく」とし、ムーブ開所 20 周年を記念して、記念式典・講演会、祝賀レセプションを実施し、記念誌を発行した。また、市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、イベント等の事業を行った。

期間　　平成 27 年 7 月 4 日（土）～ 25 日（土）

参加延人数　56,333 人

㈠ 主催事業（5 事業）

① ムーブ開所 20 周年記念式典＆オープニングイベント　講演会

「いつも前を向いて～学ぶ楽しさ・生きる楽しさ～」

講師：菊池桃子（女優・戸板女子短期大学客員教授）

② イベントステージ

・こどもを守る防災講座

講師：鈴木里枝子

（NPO 法人はままつ子育てネットワークぴっぴ 副理事長・防災士）

・こどもマルシェ　ほか

(イ) 市民企画事業

① 総事業数　107 （イベント 65 事業、サマーカーニバル 15 事業、フリーマーケット 27 事業）

② 参加延人数　22,386 人

オ　相談事業

心の問題や生き方、性別による人権侵害等について、相談員がジェンダーの視点に立って相談に応じた。また、弁護士による女性の人権に関する相談や法律基礎講座、相談に携わる方々を対象により質の高い支援を目指した対人援助職者セミナーなどを開催した。

(ア) 相談

・こころと生き方の一般相談・性別による人権侵害相談・女性のための就労応援相談

・男性のための電話相談・弁護士による無料法律相談

| 区　　分 | 電話相談件数 | 面接相談件数 | 合　　計 | |
|---|---|---|---|---|
| 一般相談 | 3,684 件（321 件） | 344 件（4 件） | 4,028 件（325 件） | 4,717 件（371 件） |
| 人権侵害相談 | 312 件　（25 件） | 7 件（0 件） | 319 件　（25 件） | |
| 就労応援相談 | 111 件　（0 件） | 101 件（0 件） | 212 件　（0 件） | |
| 男性電話相談 | 18 件　（18 件） | ― | 18 件　（18 件） | |
| 法律相談 | ― | 140 件（3 件） | 140 件　（3 件） | |

※（　）内は男性からの相談件数で内数

(イ) 講座（4 事業、参加延人数 113 名）

① 女性への暴力ゼロ運動特別講座

「知っていますか？スクール・セクハラ」

講師：亀井明子 NPO 法人 SSHP（スクール・セクシュアル・ハラスメント防止）全国ネットワーク代表

② 単発講座

「私がわたしのベストフレンド！～自分を最高のパートナーにするために！～」

講師：黒瀬まり子（臨床心理士）

(ウ) 対人援助職者セミナー（参加人数 52 名）

医療、福祉、教育などの対人援助職者を対象に、相談対応や知識の向上を図り、関係機関とのネットワークを深めることを目的に開催した。

① 「性被害女性の心の回復に向けてわたしたちができること」

講師：竹下小夜子（さよウィメンズ・メンタルクリニック院長　精神科医）

(エ) ホットライン（相談件数 44 件）

女性の人権に関する相談に弁護士などが直接電話で応じた。

① 女性への人権侵害相談ホットライン【「男女共同参画週間」事業】

② 女性への暴力ゼロ！ホットライン【「女性への暴力ゼロ運動」事業】

㈎　グループ相談（参加延人数 71 名）

①　自分のいいところ再発見！～自信を失っているあなたへ～

②　「中年期を生きる」について語り合おう

㈏　自助グループへの支援（支援グループ数 6、参加延人数 155 名）

会場提供、ロッカーの提供、託児、グループ運営上のアドバイス等の支援を行った。

㈑　その他啓発（2 事業）

①　パネル展示「デート DV について知ろう！」　ほか

カ　情報事業

㈠　情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの施設・講座等の情報をホームページやムーブメール等により提供した。

①　図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD 等の収集・提供の充実を図った。

・蔵書数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

図書 54,082 冊、雑誌 81 種類、DVD 101 本、ビデオ 98 本

②　図書・資料等の提供（貸出等）

図書の貸出・返却及び利用者並びに資料の登録・検索、統計資料の作成等に関する管理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書館共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。また、研修等のための DVD の貸出を行った。

(a)　図書情報室利用状況（平成 27 年度）　貸出冊数 36,388 冊、貸出者数 14,563 人

(b)　親子を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせをする「お話し会」　ほか

③　男女共同参画関連情報の収集・提供

(a)　団体情報（ムーブネット）の収集提供

男女共同参画社会の実現のために市内及び近郊で活動している団体（グループ）の情報を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。

・登録件数　　83 件（平成 28 年 3 月 31 日現在）

④　その他の情報提供

(a)　ホームページ

ムーブの講座、イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページで提供した。

・ホームページアクセス数　　249,106 件（平成 27 年度）

(b) ムーブメール（メールマガジン）

ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を月 1 回配信した。

・ムーブメール登録者数　　245 人（平成 28 年 3 月 31 日現在）

(イ) 調査研究事業

① ジェンダー問題調査・研究支援事業

(a) 平成 27 年度ジェンダー問題調査・研究支援事業

身近なジェンダー問題を自主的に調査研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者等を支援するために、その調査費の一部（上限 30 万円）を助成。研究結果については、平成 28 年 3 月に報告書を発行した。

・テーマ 「海運業界における男女共同参画推進のための研究」

・研究者　石田依子

（独立行政法人国立高等専門学校機構　大島商船高等専門学校　教授）

(b) 第 18 回ジェンダー問題調査・研究報告会（ムーブフェスタで実施）

② ジェンダーに関する「ムーブ叢書」の発行事業

(a) ムーブ叢書　冊子『ただいま、女性活躍中！～これからの実践手引き』

女性の活躍推進の取り組みを先進的に行っている北九州市内の事業所に対して取材を行い、取り組みのノウハウをまとめ、これから女性の活躍推進を実践していく企業のマニュアルとなる冊子を作成した。

・発行部数　2,000 部

・体裁等　　A4 版（無料）

(b) 「北九州市の男女共同参画統計データ」新規項目データを作成し、ホームページに掲載した。

・データ数　13 件

③ 男女共同参画に関する啓発事業（参加人数 38 名）

(a) 講演会「統計データから見る男女共同参画の現状とデータ集の活用法

―『北九州市の男女共同参画統計データ集 2014』をもとに―」

(ウ) 広報事業

① 情報誌「ムービング」の発行

(a) 発行日　76 号　平成 27 年 6 月 10 日
77 号　平成 27 年 10 月 1 日
78 号　平成 28 年 2 月 29 日

(b) 発行部数　各号 7,000 部

② 書誌情報誌「カティング・エッジ」の発行

(a) 発行日　54 号　平成 27 年 6 月 10 日
55 号　平成 27 年 10 月 1 日
56 号　平成 28 年 2 月 29 日

(b) 発行部数　各号 3,000 部

(エ) ムーブ開所 20 周年記念　男女共同参画川柳コンクール

開所 20 周年を記念して、男女共同参画についての理解と関心を持っていただくために「男女共同参画に関すること」をテーマに川柳の募集を行い、表彰式と川柳講演会を開催した。

また、入賞作品の作品集とパネルを作成し啓発を行った。

・応募作品数　891 人、2,677 作品
・川柳講演会参加人数　69 人

キ 施設管理業務

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

(ア) 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED 操作研修等）などの職員研修を実施した。

(イ) 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った。（原則有料）

・平成 27 年度貸室利用人数　107,172 人
≪参考：主催事業参加延人数　114,334 人≫

(ウ) その他

① 視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。

・視察件数　15 件（うち海外 3 件）、延人数 230 人（うち海外 34 人）

② 講師派遣

各団体からの依頼に応じ、セクシュアル・ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。

・派遣件数　　14 件、延人数 1,102 人

（うち 8 件 630 人　再掲　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座）

## (2) 勤労婦人センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて、各種男女共同参画事業等を実施するとともに、開館記念行事の開催や、施設の管理業務を行った。

【レディスもじ】

ア　男女共同参画等事業（15 事業、参加延人数 1,480 名）

男女共同参画に関する講座、講演会、ワークショップを開催し、健康、ワーク・ライフ・バランス、DV・セクハラ防止、男性やメディアの視点等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

(ア) ジェンダー問題講座

① ムーブ・レディス映画祭「くじけないで」

② 男女共同参画講演会「笑って元気　～生きる力～」 ほか

(イ) DV・セクハラ防止啓発事業

① デート DV 防止教室「お互いを尊重し合う関係を築こう」（出前講座）

対象：啓知高等学校 3 年生

(ウ) ワーク・ライフ・バランス推進講座

① 「楽しく働くスペシャリストからの招待状」（出前講座）

対象：製菓・医療 九州ビジネス専門学校　職業訓練生

(エ) 男性セミナー

① ムーブ・レディス連携事業　俺メシ「門司港焼きカレー」

(オ) メディアリテラシー講座

① 「スマホやケータイの使い方について」（出前講座）

対象：啓知高等学校 1 年生

イ　就業支援講座

女性の経済的自立へのチャレンジを支援する起業家支援やキャリアアップ講座、就業・再就職講座等を実施した。

㈠　起業家支援（2 事業、参加延人数 62 人）

起業に際して必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、女性の起業に向けた支援を行う。

①　ネットショップ開設入門講座　ほか

㈡　キャリアアップ講座（11 事業、参加延人数 1,126 名）

働く女性の就業能力向上を目的として、英語の能力向上を図る講座や資格取得に関する入門講座等を実施した。

①　司法書士入門講座

②　給与計算・社会保険事務講座　ほか

㈢　再就職支援事業（4 事業、参加延人数 27 名）

福岡県子育て女性就職支援センターやマザーズハローワーク北九州との連携事業として開講した。

①　就職活動セミナー　3 事業

②　再就職準備セミナー　1 事業

㈣　パソコン講座　（25 事業、参加延人数 2,818 名）

①　エクセル 1 級・2 級・3 級検定講座

②　使える！働く人のための「関数編」･「マクロ＆ VBA 編」　ほか

㈤　資格取得講座（8 事業、参加延人数 1,250 名）

女性のライフプランやキャリアプランも多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

①　日商簿記 3 級検定講座

②　色彩 2 級・3 級検定講座　ほか

ウ　生活技術講座

㈠　子育て支援事業（6 事業、参加延人数 299 名）

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

①　親子わくわく教室（前期・後期）

②　ベビーマッサージ　ほか

(イ) 生活技術講座（10 事業、参加延人 212 名）

家族の健康、家庭生活（料理）、収納などをテーマとして、時代に即した話題で生活の充実を目的とした講座を開催した。

① 収納セミナー

② 和ハーブでリラックス　ほか

エ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（9 事業、参加延人数 364 名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」に関する講座等を開催した。

① リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（出前講座）

「性感染症について」 対象：啓知高等学校　２年生

② からだにやさしい東洋医学　ほか

オ　市民活動支援・連携事業

(ア) 市民企画事業（6 事業、参加延人数 443 名）

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスもじを活用し、男女共同参画に関連する事業を実施する団体との共催により事業を行った。

① 「女と男の落語寄席」

② 「二胡 コンサート」 ほか

(イ) 友の会育成事業（5 事業、参加延人数 676 名）

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるような友の会の指導育成を図った。

① 開館 28 周年記念　第 28 回フェスティバル

② 東日本大震災　募金活動　ほか

(ウ) 国際交流事業（1 事業、参加人数 10 名）

外国及び日本の伝統文化や食を通して、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と相互理解を促進する事業を実施した。

① 「世界の食卓　～韓国の家庭料理～」

(エ) 託児ボランティア・図書ボランティア　（3 事業、参加延人数　615 名）

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務を託児サークルの協力を得て実施した。また、情報資料室では、図書ボランティアの協力を得て、多くの情報を提供した。

① 託児ボランティア「ママサポートりぼん」

② 図書ボランティア「リブロ」 ほか

カ　開館記念講演会（参加人数 295 名）

レディスもじの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会を実施した。

㈠　開館 28 周年記念講演会「今、共生の時　～女と男が共に生きる社会～」

講師：落合恵子（作家・東京家政大学未来研究所特任教授）

キ　相談事業（2 事業、相談延人数 24 名）

㈠　女性のための相談室

㈡　女性のための無料法律相談

ク　情報提供事業

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行った。また、レディスもじでは、情報資料室を設置しており、図書ボランティアの協力も得て、図書の貸出し事業を行っている。

・貸出冊数　　1,734 冊

【レディスやはた】

ア　男女共同参画等事業（16 事業、参加延人数 668 名）

男女共同参画に関する講座、講演会、ワークショップを開催し、健康、ワーク・ライフ・バランス、DV・セクハラ防止、男性やメディアの視点等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

㈠　ジェンダー問題講座

①　ムーブ・レディス映画祭「折り梅」

②　ジェンダーワークショップ「わたしらしい生き方」「世界の家事分担事情」 ほか

㈡　DV セクハラ防止啓発事業

①　デート DV 防止セミナー「デート DV って何？」（出前講座）

対象：北九州市立高等理容美容学校

㈢　ワーク・ライフ・バランス推進講座

①　ワーク・ライフ・バランス推進セミナー「女性の自立とワーク・ライフ・バランス」

②　ライフインベントリーセミナー「人生の中でキャリアを考える」 ほか

㈣　男性セミナー

①　ムーブ・レディス連携事業　俺メシ「八幡ぎょうざ」

②　男性料理教室　初級・中級

㈎　メディアリテラシー講演会

①「北九州・映画ロケによるまちづくり～女性が輝く時～」

イ　就業支援講座

女性の経済的自立へのチャレンジを支援する起業家支援やキャリアアップ講座、就業・再就職講座等を実施した。

㈠　起業家支援講座（6 事業、参加延人数 647 名）

起業に際して必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、女性の起業に向けた支援を実施した。

①　リンパドレナージ養成講座　初級・中級

②　ハンドメイド作家養成講座　ほか

㈡　キャリアアップ事業（4 事業、参加延人数 964 名）

働く女性の就業能力向上を目的として、英語の能力向上を図る講座や資格取得に関する入門講座を実施した。

①　TOEIC 検定講座

②　行政書士入門講座　ほか

㈢　就業継続支援事業（2 事業、参加延人数 208 名）

①　経済学講座「物価上昇に負けないゆとり家計」

②　美文字～くせ字よさよなら～

㈣　再就職支援事業（6 事業、参加延人数 52 名）

福岡県子育て女性就職支援センターやマザーズハローワーク北九州との連携事業として開講した。

①　就職活動セミナー　4 事業

②　再就職準備セミナー　2 事業

㈤　パソコン講座（16 事業、参加延人数 1,830 名）

①　ワード・エクセル基礎・応用講座

②　パワーポイント初級講座　ほか

㈥　資格取得講座（8 事業、1,914 名）

女性のライフプランやキャリアプランも多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

①　社会保険労務士試験対策講座

②　宅地建物取引士試験対策講座　ほか

ウ　生活技術講座

㈠　子育て支援事業（7 事業、参加延人数 385 名）

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

①　わらべの日事業「親子でパン教室」

②　父と子のふれあいクッキング「パパと仲良しピザづくり」　ほか

㈡　生活技術事業（7 事業、参加延人数 391 名）

食や英会話、趣味をとおして豊かで健康的な生活を送るための講座を実施した。

①　セレブな季節の料理教室

②　焼きたてパンでナイト　ほか

エ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（7 事業、参加延人数 1,341 名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」に関する講座等を開催した。

㈠　健康講座

①　骨盤調整ピラティス講座

②　骨盤矯正ダイエット講座　ほか

オ　市民活動支援・連携事業

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、勤労婦人センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

㈠　市民企画事業（4 事業、参加人数 385 名）

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスやはた舞台ホールで市民団体と連携して事業を実施した。

①　北九州ランチャーズライブ～懐かしいサウンドが今蘇る～

②　狂言「柿山伏」　ほか

㈡　友の会育成事業（2 事業、参加延人数 3,476 名）

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるよう友の会の指導育成を図った。

①　レディスやはたフェスティバル

②　利用者の会バスハイク「博多座観劇　放浪記」

㈠ 国際交流事業（3 事業、参加人数 289 名）

外国及び日本の伝統文化や食を通して、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と相互理解を促進する事業を実施した。

① 狂言「附子」

② JICA 研究員との国際交流「和食づくりにチャレンジ！」 ほか

㈡ 託児ボランティア（3 事業、参加人数 980 名）

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務及び託児サポーターの養成などの事業を託児サークルの協力を得て実施した。

① 託児ボランティア「えくぼの会」

② 保育サポーター養成講座「発達障がい者への支援について」

カ 開館記念講演会（参加人数 140 名）

レディスやはたの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会を実施した。

㈠ 開館 38 周年記念講演会 「柔道一直線～強くやさしい社会を実現するために～」

講師：山口香（柔道家・筑波大学准教授）

キ 相談事業（2 事業、相談延人数 55 名）

㈠ 女性のための相談室

㈡ 女性のための無料法律相談

ク 情報提供事業

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行った。

㈠ 男女共同参画啓発「お母さんが語る女子差別撤廃条約」パネル展示

㈡ ひまわり文庫

【勤労婦人センター管理業務】

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

ア 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED 操作研修等）などの職員研修を実施した。

イ　貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出を行った。（原則有料）

平成 27 年度貸室利用人数　レディスもじ 84,205 人　レディスやはた 66,890 人

≪参考：主催事業参加延人数　レディスもじ 26,769 人　レディスやはた 30,898 人≫

## ２　自主事業

### ⑴　男女共同参画センター自主事業

ア　男女共同参画講座（英会話）（再掲）

イ　就業支援講座（医療事務講座、調剤事務講座、パソコン講座　等）（再掲）

ウ　生活技術講座（夏休み親子木工教室）（再掲）

エ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（シェイプアップヨガ　等）（再掲）

### ⑵　勤労婦人センター自主事業

ア　就業支援講座（資格取得講座、パソコン講座　等）（再掲）

イ　生活技術講座（英会話　等）（再掲）

ウ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（骨盤体操講座　等）（再掲）

## 平成 27 年度　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ利用状況

（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

| 室名＼区分 | | 開所日数（日） | 利用日数（日） | 利用率（%） | 利用人員（人） 主催事業 | （男性内数） | 貸室利用 | （男性内数） | 総利用者数 | （男性内数） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ホール | | 344 | 158 | 45.9% | 7,065 | 2,192 | 19,701 | 7,604 | 26,766 | 9,796 |
| 大セミナールーム | | 344 | 204 | 59.3% | 2,366 | 275 | 15,664 | 6,684 | 18,030 | 6,959 |
| 小セミナールーム | | 344 | 244 | 70.9% | 2,442 | 157 | 5,234 | 2,061 | 7,676 | 2,218 |
| 企画ルーム１ | | 344 | 256 | 74.4% | 229 | 20 | 2,576 | 837 | 2,805 | 857 |
| 企画ルーム２ | | 344 | 291 | 84.6% | 845 | 173 | 2,548 | 844 | 3,393 | 1,017 |
| 料理室 | | 344 | 220 | 64.0% | 1,148 | 704 | 1,982 | 339 | 3,130 | 1,043 |
| 和室（茶室兼備） | | 344 | 235 | 68.3% | 328 | 80 | 2,483 | 719 | 2,811 | 799 |
| 茶室（立礼形式） | | 344 | 49 | 14.2% | 2 | 1 | 332 | 107 | 334 | 108 |
| ﾌｨｯﾄﾈｽﾙｰﾑ | 専用 | 344 | 241 | 70.1% | 401 | 60 | 351 | 40 | 752 | 100 |
| | 個人 | | | | 9,232 | 1,886 | — | — | 9,232 | 1,886 |
| | 小計 | | | | 9,633 | 1,946 | 351 | 40 | 9,984 | 1,986 |
| 工芸室 | 専用 | 344 | 239 | 69.5% | 1,187 | 707 | 2,468 | 232 | 3,655 | 939 |
| | 個人 | | | | 0 | 0 | — | — | 0 | 0 |
| | 小計 | | | | 1,187 | 707 | 2,468 | 232 | 3,655 | 939 |
| OA ルーム | 専用 | 344 | 228 | 66.3% | 2,538 | 391 | 0 | 0 | 2,538 | 391 |
| | 個人 | | | | 723 | 207 | — | — | 723 | 207 |
| | 小計 | | | | 3,261 | 598 | 0 | 0 | 3,261 | 598 |
| グループ活動室 | | 344 | 325 | 94.5% | 785 | 200 | 6,276 | 1,208 | 7,061 | 1,408 |
| こどもの部屋 | | 344 | 249 | 72.4% | 1,365 | 310 | 31 | 8 | 1,396 | 318 |
| 交流広場 | | 344 | 232 | 67.4% | 44,398 | 9,610 | 47,526 | 17,585 | 91,924 | 27,195 |
| 相談室 | | — | — | — | 4,959 | 414 | — | — | 4,959 | 414 |
| 図書・情報室 | | — | — | — | 34,321 | 20,593 | — | — | 34,321 | 20,593 |
| 合　計 | | — | — | — | 114,334 | 37,980 | 107,172 | 38,268 | 221,506 | 76,248 |

男性利用率　34.4%

（参考）・前年度（H26 年度）……271,406 人　（内男性 97,861 人）　（男性利用率　36.1%）

内訳　主催　117,143 人　（内男性　38,634 人）
　　貸室　154,263 人　（内男性　59,227 人）

開所からの利用者累計（H7.7 ～ H28.3 月）　……　6,054,143 人

※ H27.10 月から H28.1 月、交流広場の天井改修（耐震補強）工事を実施したため、各室の利用人員に影響があった。

## 講師派遣参加者数・視察受入数　（外数）

| | | H27 年度累計（H27.4 月～ H28.3 月） 件数 | 人数 | 前年度累計（H26.4 月～ H27.3 月） 件数 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 講師派遣参加者数 | 施設運営課受付※1 | 6 件 | 472 人 | 1 件 | 66 人 |
| | 事業課主催講座※2 | 8 件 | 630 人 | 7 件 | 572 人 |
| | 小計 | 14 件 | 1,102 人 | 8 件 | 638 人 |
| 視察受入数（国内） | | 12 件 | 196 人 | 6 件 | 81 人 |
| 視察受入数（国外） | | 3 件 | 34 人 | 0 件 | 0 人 |
| 合　計 | | **29 件** | **1,332 人** | **14 件** | **719 人** |

※ 1　セクシュアルハラスメント研修、男女共同参画講演等講師派遣
※ 2　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座講師派遣

# 平成 27 年度　東部勤労婦人センター利用状況

| 区分<br>室名 | | 開館日数（日） | 利用日数（日） | 利用率（%） | 利用人員（人） | | | 前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 主催事業 | 貸室利用 | 計 | |
| 第 1 講習室 | | 293 | 232 | 79% | 1,341 | 4,764 | 6,105 | 90% |
| 第 2 講習室 | | 293 | 187 | 64% | 2,926 | 3,672 | 6,598 | 102% |
| 料理講習室 | | 293 | 75 | 26% | 870 | 1,132 | 2,002 | 62% |
| 和室 | | 293 | 223 | 76% | 1,516 | 6,080 | 7,596 | 100% |
| 音楽室 | | 293 | 194 | 66% | 7,303 | 1,700 | 8,003 | 86% |
| 体育室 | 専用 | 293 | 129 | 44% | 2,104 | 3,938 | 6,042 | 96% |
| | 個人 | 293 | 264 | 90% | — | 4,697 | 4,697 | 99% |
| | 小計 | 293 | 393 | — | 2,104 | 8,635 | 10,739 | 97% |
| トレーニング室 | | 293 | 287 | 98% | 1,895 | 6,356 | 8,251 | 104% |
| 情報資料室 | | 293 | 293 | 100% | 4,058 | 17,565 | 21,623 | 100% |
| 談話室 | | 293 | 293 | 100% | — | 37,405 | 37,405 | 132% |
| 託児室 | | 293 | 102 | 35% | 632 | — | 632 | 90% |
| 相談室 | | 293 | 49 | 17% | 222 | — | 222 | 100% |
| その他 | | 293 | 35 | 12% | 1,798 | — | 1,798 | 121% |
| 合　　計 | | — | — | — | **26,769** | **84,205** | **110,974** | **106%** |

| 男性の利用状況（内数で表示） | 主催事業 | 貸室利用 | 計 | 前年比 |
|---|---|---|---|---|
| | **7,724** | **13,236** | **20,960** | **107%** |

## 平成 27 年度　西部勤労婦人センター利用状況

| 区分 / 室名 | | 開館日数（日） | 利用日数（日） | 利用率（%） | 利用人員（人） | | | 前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 主催事業 | 貸室利用 | 計 | |
| 第 1 講習室 | | 293 | 242 | 83% | 6,106 | 2,077 | 8,183 | 92% |
| 第 2 講習室 | | 293 | 168 | 57% | 2,589 | 4,542 | 7,131 | 84% |
| 第 3 講習室 | | 293 | 236 | 81% | 6,087 | 4,676 | 10,763 | 82% |
| 料理講習室 | | 293 | 119 | 41% | 3,545 | 1,236 | 4,781 | 103% |
| 和室 1 | | 293 | 167 | 57% | 2,993 | 4,807 | 7,800 | 103% |
| 和室 2 | | 293 | 182 | 62% | 3,074 | 4,685 | 7,759 | 106% |
| 舞台ホール | | 293 | 129 | 44% | 2,780 | 5,160 | 7,940 | 119% |
| 体育室 | 専用 | 293 | 234 | 80% | 2,719 | 4,454 | 7,173 | 63% |
| | 個人 | | | | — | 1,028 | 1,028 | 107% |
| | 小計 | | | | 2,719 | 5,482 | 8,201 | 67% |
| ロビー | | 293 | 290 | 99% | — | 33,807 | 33,807 | 92% |
| 託児室 | | 293 | 172 | 59% | 752 | 65 | 817 | 108% |
| 相談室 | | 293 | 40 | 14% | 128 | — | 128 | 147% |
| その他 | | 293 | 10 | 3% | 125 | 353 | 478 | 125% |
| 合計 | | — | — | — | **30,898** | **66,890** | **97,788** | **91%** |

| 男性の利用状況（内数で表示） | 主催事業 | 貸室利用 | 計 | 前年比 |
|---|---|---|---|---|
| | **6,589** | **22,852** | **29,441** | **97%** |

# 収益事業等

## その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業

**【概況】**

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検及び修繕による維持管理、並びに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

## その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業

**【概況】**

北九州市立男女共同参画センター及び北九州市立勤労婦人センター（東部・西部）において指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

# 法人事業

## 法人事業

**【概況】**

理事会・評議員会の開催や、フォーラムサポーターや賛助会員の募集により、公益財団法人の適正な運営を行うとともに、円滑な情報処理ができるよう、事務所内の情報システム管理を行った。

## 1　理事会・定時評議員会の開催

平成 27 年度は 5 回の理事会（うち 3 回はみなし決議)、定時評議員会及び 2 回の臨時評議員会（みなし決議）を開催し、決算等の承認、理事長及び専務の職務執行状況の報告並びに役員の交代等、財団運営の根幹となる重要事項の決議等を行った。

第 1 回理事会　　平成 27 年 4 月 27 日みなし決議
第 2 回理事会　　平成 27 年 6 月 4 日開催
第 3 回理事会　　平成 27 年 6 月 19 日みなし決議
第 4 回理事会　　平成 27 年 8 月 20 日みなし決議
第 5 回理事会　　平成 28 年 3 月 11 日開催

臨時評議員会　　平成 27 年 5 月 12 日みなし決議
定時評議員会　　平成 27 年 6 月 19 日開催
臨時評議員会　　平成 27 年 9 月 4 日みなし決議

## 2　フォーラムサポーター活動の推進及び賛助会員の拡充

フォーラムサポーターと協働で事業運営を行い、フォーラムサポーター活動の推進を図った。
また、多くの方々とネットワークを広げ、財政基盤の強化を目指して賛助会員の拡充に努めた。

【平成 27 年度実績】会費収入　530,000 円

| 区　分 | 年額（1 口） | 加入人数 | 加入口数 |
|---|---|---|---|
| 個　人 | 3,000 円 | 82 名 | 84 口 |
| 団　体 | 20,000 円 | 13 件 | 13 口 |
| 学　生 | 1,500 円 | 12 名 | 12 口 |

## 3　情報システム管理事業

昨年度に引き続きウィルスやハッキングなどの犯罪に対して必要なセキュリティ対策を行った。

# 財務諸表

# 貸借対照表内訳表

平成 28 年 3 月 31 日現在　　（単位：円）

| 科　　目 | 公益目的事業会計 | 収益事業等会計 | 法人会計 | 合　　計 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　資産の部 | | | | |
| 1．流動資産 | | | | |
| 現金預金 | 58,339,336 | 3,401,802 | 6,900,217 | 68,641,355 |
| 未収金 | 20,001 | 0 | 12,626 | 32,627 |
| 貯蔵品 | 3,228,489 | 0 | 0 | 3,228,489 |
| 仮払金 | 239,000 | 268,466 | 93,225 | 600,691 |
| 流動資産合計 | 61,826,826 | 3,670,268 | 7,006,068 | 72,503,162 |
| 2．固定資産 | | | | |
| ⑴基本財産 | | | | |
| 投資有価証券 | 164,669,696 | 0 | 164,669,695 | 329,339,391 |
| 定期預金 | 3,191 | 0 | 3,191 | 6,382 |
| 基本財産合計 | 164,672,887 | 0 | 164,672,886 | 329,345,773 |
| ⑵その他固定資産 | | | | |
| 什器備品 | 936,890 | 0 | 0 | 936,890 |
| 電話加入権 | 245,000 | 0 | 245,000 | 490,000 |
| 出資金 | 25,000 | 0 | 25,000 | 50,000 |
| その他固定資産合計 | 1,206,890 | 0 | 270,000 | 1,476,890 |
| 固定資産合計 | 165,879,777 | 0 | 164,942,886 | 330,822,663 |
| 資　産　合　計 | 227,706,603 | 3,670,268 | 171,948,954 | 403,325,825 |
| Ⅱ　負債の部 | | | | |
| 1．流動負債 | | | | |
| 未払金 | 18,413,393 | 3,670,268 | 1,194,609 | 23,278,270 |
| 前受金 | 1,284,336 | 0 | 0 | 1,284,336 |
| 預り金 | 665,801 | 0 | 25,652 | 691,453 |
| 仮受金 | 307,202 | 0 | 0 | 307,202 |
| 流動負債合計 | 20,670,732 | 3,670,268 | 1,220,261 | 25,561,261 |
| 負　債　合　計 | 20,670,732 | 3,670,268 | 1,220,261 | 25,561,261 |
| Ⅲ　正味財産の部 | | | | |
| 1．指定正味財産 | | | | |
| 市補助金 | 150,000,000 | 0 | 150,000,000 | 300,000,000 |
| 寄付金 | 11,583,048 | 0 | 11,583,047 | 23,166,095 |
| 受贈投資有価証券 | 50,000 | 0 | 50,000 | 100,000 |
| 指定正味財産合計 | 161,633,048 | 0 | 161,633,047 | 323,266,095 |
| （うち基本財産への充当額） | 161,633,048 | 0 | 161,633,047 | 323,266,095 |
| （うち特定資産への充当額） | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2．一般正味財産 | 45,402,823 | 0 | 9,095,646 | 54,498,469 |
| （うち基本財産への充当額） | 3,039,839 | 0 | 3,039,839 | 6,079,678 |
| （うち特定資産への充当額） | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 正味財産合計 | 207,035,871 | 0 | 170,728,693 | 377,764,564 |
| 負債及び正味財産合計 | 227,706,603 | 3,670,268 | 171,948,954 | 403,325,825 |

# 正味財産増減計算書内訳表

平成 27 年 4 月 1 日から 平成 28 年 3 月 31 日まで　　（単位：円）

| 科　　目 | 公益目的事業会計 | | | 収益事業等会計 | | 小　計 | 法人会計 | 合　　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日本及びアジア地域の女性の地位向上を図る事業 | 男女共同参画社会の形成を推進する事業 | 小　計 | 北九州市大手町ビル維持管理事業 | 男女共同参画センター公益目的以外貸与事業 | | | |
| Ⅰ　一般正味財産増減の部 | | | | | | | | |
| 1．経常増減の部 | | | | | | | | |
| (1)経常収益 | | | | | | | | |
| 基本財産運用益 | 1,387,560 | 0 | 1,387,560 | 0 | 0 | 0 | 1,387,560 | 2,775,120 |
| 受取会費 | 265,000 | 0 | 265,000 | 0 | 0 | 0 | 265,000 | 530,000 |
| 事業収益 | 71,489 | 0 | 71,489 | 0 | 0 | 0 | 5,000 | 76,489 |
| 指定管理施設自主事業費収益 | 0 | 16,720,505 | 16,720,505 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,720,505 |
| 委託料収益 | 3,422,147 | 0 | 3,422,147 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,422,147 |
| 北九州市委託金収益 | 0 | 296,132,776 | 296,132,776 | 32,813,586 | 18,838,336 | 51,651,922 | 0 | 347,784,698 |
| 受取補助金等 | 37,444,749 | 0 | 37,444,749 | 0 | 0 | 0 | 21,336,182 | 58,780,931 |
| 雑収益 | 0 | 174,290 | 174,290 | 0 | 0 | 0 | 232,761 | 407,051 |
| 経常収益計 | 42,590,945 | 313,027,571 | 355,618,516 | 32,813,586 | 18,838,336 | 51,651,922 | 23,226,503 | 430,496,941 |
| (2)経常費用 | | | | | | | | |
| 事業費 | 43,580,519 | 308,432,725 | 352,013,244 | 32,813,586 | 18,838,336 | 51,651,922 | 0 | 403,665,166 |
| 管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 22,552,945 | 22,552,945 |
| 経常費用計 | 43,580,519 | 308,432,725 | 352,013,244 | 32,813,586 | 18,838,336 | 51,651,922 | 22,552,945 | 426,218,111 |
| 当期経常増減額 | ▲ 989,574 | 4,594,846 | 3,605,272 | 0 | 0 | 0 | 673,558 | 4,278,830 |
| 2．経常外増減の部 | | | | | | | | |
| (1)経常外収益 | | | | | | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2)経常外費用 | | | | | | | | |
| 除却損失 | 6,781 | 0 | 6,781 | 0 | 0 | 0 | 2,906 | 9,687 |
| 経常外費用計 | 6,781 | 0 | 6,781 | 0 | 0 | 0 | 2,906 | 9,687 |
| 当期経常外増減額 | ▲ 6,781 | 0 | ▲ 6,781 | 0 | 0 | 0 | ▲ 2,906 | ▲ 9,687 |
| 当期一般正味財産増減額 | ▲ 996,355 | 4,594,846 | 3,598,491 | 0 | 0 | 0 | 670,652 | 4,269,143 |
| 一般正味財産期首残高 | 11,566,459 | 30,237,873 | 41,804,332 | 0 | 0 | 0 | 8,424,994 | 50,229,326 |
| 一般正味財産期末残高 | 10,570,104 | 34,832,719 | 45,402,823 | 0 | 0 | 0 | 9,095,646 | 54,498,469 |
| Ⅱ　指定正味財産増減の部 | | | | | | | | |
| 基本財産運用益 | 1,437,560 | 0 | 1,437,560 | 0 | 0 | 0 | 1,437,560 | 2,875,120 |
| 一般正味財産への振替額 | ▲ 1,387,560 | 0 | ▲ 1,387,560 | 0 | 0 | 0 | ▲ 1,387,560 | ▲ 2,775,120 |
| 当期指定正味財産増減額 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | 0 | 0 | 50,000 | 100,000 |
| 指定正味財産期首残高 | 161,583,048 | 0 | 161,583,048 | 0 | 0 | 0 | 161,583,047 | 323,166,095 |
| 指定正味財産期末残高 | 161,633,048 | 0 | 161,633,048 | 0 | 0 | 0 | 161,633,047 | 323,266,095 |
| Ⅲ　正味財産期末残高 | 172,203,152 | 34,832,719 | 207,035,871 | 0 | 0 | 0 | 170,728,693 | 377,764,564 |

# 財務諸表に対する注記

平成 28 年 3 月 31 日現在

## 1　継続企業の前提に関する注記

継続事業を行うにあたって、重要な疑義を抱かせるような事象または状況は存在しない。

## 2　重要な会計方針

⑴「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日　平成 21 年 10 月 16 日改正内閣府公益認定等委員会）を採用している。

⑵　有価証券の評価基準及び評価方法
　満期保有目的の債券・・・取得原価

⑶　固定資産の減価償却方法
　車両運搬具・・・定率法
　什器備品・・・定率法
　無形固定資産・・・定額法

⑷　消費税の会計処理
　消費税の会計処理は税込方式によっている。

## 3　基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

| 科目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|---|
| 基本財産 | | | | |
| 　投資有価証券 | 329,239,391 | 200,200,000 | 200,100,000 | 329,339,391 |
| 　定期預金 | 6,382 | 0 | 0 | 6,382 |
| 小　計 | 329,245,773 | 200,200,000 | 200,100,000 | 329,345,773 |
| 特定資産 | | | | |
| 小　計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合　計 | 329,245,773 | 200,200,000 | 200,100,000 | 329,345,773 |

## 4　基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

| 科目 | 当期末残高 | （うち指定正味財産からの充当額） | （うち一般正味財産からの充当額） | （うち負債に対応する額） |
|---|---|---|---|---|
| 基本財産 | | | | |
| 　投資有価証券 | 329,339,391 | (323,266,095) | (6,073,296) | － |
| 　定期預金 | 6,382 | (0) | (6,382) | － |
| 小　計 | 329,345,773 | (323,266,095) | (6,079,678) | － |
| 特定資産 | | | | |
| 小　計 | 0 | (0) | (0) | (0) |
| 合　計 | 329,345,773 | (323,266,095) | (6,079,678) | (0) |

## 5　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

| 科目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|
| その他の固定資産 | | | |
| 　什器備品 | 12,211,953 | 11,275,063 | 936,890 |
| 合　計 | 12,211,953 | 11,275,063 | 936,890 |

## ６　補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照表上の記載区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 補助金 | | | | | | |
| 市補助金 | | 300,000,000 | －－ | －－ | 300,000,000 | 指定正味財産 |
| 受取市補助金 | 北九州市 | －－ | 58,780,931 | 58,780,931 | 0 | 一般正味財産 |
| 合　計 | | 300,000,000 | 58,780,931 | 58,780,931 | 300,000,000 | |

## ７　満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は次のとおりである。

（単位：円）

| 科目 | 帳簿価格 | 時価 | 評価損益 |
|---|---|---|---|
| 投資有価証券 | | | |
| 29　神奈川県 20 年債 | 200,000,000 | 227,940,000 | 27,940,000 |
| 311　10 年国債 | 99,755,000 | 104,460,000 | 4,705,000 |
| 新潟県平成 25 年度第 1 回公債 | 20,000,000 | 20,882,900 | 882,900 |
| 第 61 回利付国債（20 年） | 9,484,391 | 10,344,140 | 859,749 |
| 155　共同発行地方債 | 100,000 | 101,040 | 1,040 |
| 合　計 | 329,339,391 | 363,728,080 | 34,388,689 |

## ８　指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

| 内容 | 金額 |
|---|---|
| 経常収益への振替額 | |
| 基本財産利息（29　神奈川県 20 年債） | 1,126,994 |
| 基本財産利息（27　共同発行地方債） | 860,000 |
| 基本財産利息（311　10 年国債） | 587,398 |
| 基本財産利息（新潟県平成 25 年第 1 回公債） | 107,918 |
| 基本財産利息（第 61 回利付国債 20 年） | 91,314 |
| 基本財産利息（大阪府公債） | 1,495 |
| 基本財産利息（定期預金） | 1 |
| 合計 | 2,775,120 |

## ９　関連当事者との取引の内容

該当なし。

## 10　重要な後発事象

該当なし。

# 資　　料

## 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み

| | |
|---|---|
| 1989年8月23日 | 北九州市の「自ら考え自ら行う地域づくり事業（ふるさと創生事業)」として「アジアの女性の研究・研修システム（仮称）アジア女性フォーラム」が 101 の案の中から選定される。 |
| 11月 1 日 | アジア女性フォーラム（仮称）の基本構想について検討し、総合的な提言を得るため、北九州市長の私的諮問機関として、元労働省婦人少年局長高橋久子氏を委員長とする「アジア女性フォーラム基本構想委員会」が設置される。 |
| 12月26日 | 基本構想委員会が、組織の正式名称を「アジア女性交流・研究フォーラム」とすることを提言し、名称が決定する。 |
| 1990年 1 月19日 ～ 21日 | 東京ドームで開催された「ふるさと創生展」において、アジア女性交流・研究フォーラムの目指す事業が、マルチスライドを使って紹介される。 |
| 2 月11日 ～ 3 月24日 | 北九州市の 7 区に組織されている「女性会議実行委員会」の主催により、アジア女性交流・研究フォーラムの設立気運を盛り上げるため、各区においてシンポジウム・交流会・展示会・講演会等「アジア女性フォーラム各区イベント」が開催される。 |
| 3 月30日 | 基本構想委員会が「アジア女性交流・研究フォーラム基本構想」を北九州市長に提言する。 |
| 3 月31日 | 「'90 アジア国際シンポジウム」（テーマ：アジア・女性・未来～共に考え共に歩もう）を開催する。 |
| 6 月～ 9 月 | 第 1 回アジアセミナーを開催する。（～ 2000 年まで毎年開催） |
| 7 月 5 日 | アジア女性交流・研究フォーラムのより具体的な活動について検討するため、北九州市長の私的諮問機関として、「アジア女性交流・研究フォーラム懇談会」が設置される。 |
| 7 月23日 | アジア女性交流・研究フォーラム提言をもとに基本構想が策定される。 |
| 10月20日 | **アジア女性交流・研究フォーラム設立**（理事長　高橋久子） |
| 10月20日 | アジア女性交流・研究フォーラムの設立を記念して、伊東すみ子東京高等裁判所判事を講師として、「国際社会における女性の役割」をテーマに講演会を開催する。 |
| 10月 | 共同研究事業「開発が女性と家族に与える影響」が開始される。 |
| 1991年 3 月 9 日 ～ 10日 | 「第 1 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：アジアと女性の今）を開催する。（以後毎年開催） |
| 3 月 | 情報誌『Asian Breeze』創刊 |
| 4 月 | プロジェクト研究事業が開始される。 |
| 5 月 | 海外通信員制度始まる。（以後毎年実施） |
| 12月 1 日 ～ 2 日 | 「第 2 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：政策決定における女性）を開催する。 |
| 1992年3月18日 ～ 27日 | 「第 1 回女性の地位向上のための行政官セミナー（2002 年からは「ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー」、2010 年からは「行政官のためのジェンダー主流化政策」に名称変更)」（JICA の委託事業）を開催する。（以後毎年開催） |
| 7 月24日 | 1993 年 10 月を目標に財団法人化を図るため、基本財産積み立てのための募金活動を行う募金委員会が理事等の役員を中心に発足し、募金活動を開始する。 |
| 11月13日 ～ 15日 | 「第 3 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：環境と開発と女性）を開催する。 |
| 11月24日 | 国連婦人開発基金（ユニフェム）の活動を支援するための組織として、ユニフェム日本国内委員会を国際婦人年連絡会および財団法人横浜女性協会とともに設立し、その正会員となる。 |

1993年３月　『アジア女性シリーズ』第１号が発刊される。（中国）

５月　「国際理解のための教材ビデオ」制作事業を開始する。

９月17日　財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立発起人会を開催する。

９月22日　労働省より、財団法人としての設立を許可される。

10月１日　**財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立**（理事長　高橋久子）

11月19日～21日　「第４回アジア女性会議―北九州」（テーマ：地球の未来と人口）を開催する。

1994年２月８日　高橋久子理事長が最高裁判所判事就任のため理事長を辞任する。三隅佳子専務理事が理事長代行となる。

４月　共同研究事業「アジアの働く女性シリーズ」を開始する。

９月１日～８日　第１回海外通信員セミナーを開催する。

11月18日～20日　「第５回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性と家族）を開催する。

1995年４月１日　北九州市から北九州市立女性センターの管理運営業務の委託を受ける。

６月15日　事務所を北九州市大手町ビルに移す。

６月22日　第２代理事長に奥田八二氏が就任する。

７月１日～８日　北九州市立女性センターのオープニングイベントを開催する。

９月４日～11日　国連婦人の地位委員会のオブザーバー参加資格を得る。国連第４回世界女性会議にオブザーバー参加する。また、NGO フォーラムにも参加し、ワークショップを開催する。

11月17日～19日　「第６回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性と労働）を開催する。

1996年２月16日～３月21日　「第１回環境と開発と女性セミナー」（JICA の委託事業）を開催する（～2008 年まで毎年開催）

11月15日～17日　「第７回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性とメディア）を開催する。

1997年１月　ホームページを開設する。

４月１日　三隅佳子専務理事が理事長代行となる。

９月22日　「客員研究員制度」を設置する。

11月７日～９日　「第８回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性と教育）を開催する。

1998年３月24日　第３代理事長に高橋久子氏が就任する。

６月　「国際協力カレッジ」を開催する。

10月10日　財団設立５周年記念事業を実施する。

11月７日～８日　「第９回アジア女性会議―北九州」（テーマ：ジェンダーの視点の主流化（メインストリーム）をめざして）を開催する。

12月12日～13日　地球市民教育地域セミナーを開催する。

1999年４月12日　「ジャパン・ソサエティ地方政治・公共政策フェローシップ事業」を実施する。

９月　「フォーラム懇話会」を実施する。

10月17日～31日　「女性起業家支援塾」（北九州市立女性センターの委託事業）を開催する。

11月６日～７日　「第10回アジア女性会議―北九州」（テーマ：男女共同参画の世紀を拓く～女性2000年会議とその後～）を開催する。

2000年１月９日～15日　「女性起業家スタディツアー」（アメリカ　サンフランシスコ）を実施する。

６月５日～９日　国連特別総会「女性2000年会議―21世紀に向けての男女平等・開発・平和」にオブザーバーとして参加する。

６月５日～８日　「女性2000年会議」に関連したNGOのシンポジウム「北京＋５グローバルフェミニストシンポジウム（アメリカ　ニューヨーク）」に参加する。またワークショップを開催する。

９月３日　北九州市で開催された「アジア・太平洋環境大臣会議」の関連事業として「アジア・太平洋環境女性会議（第11回アジア女性会議―北九州）」を開催する。

11月　自治大臣表彰「世界に開かれたまちづくり」を受賞する。

12月28日　理事長制から会長制へ移行、その他諸規定についての寄附行為変更が認可される。

2001年２月25日～３月５日　「環境問題を考えるスタディツアー（マレーシア）」を実施する。

４月１日　原ひろ子氏が初代会長に、第４代理事長に三隅佳子氏が、前理事長の高橋久子氏が顧問に、それぞれ就任する。

７月26日～28日　「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）北東アジア準備会合及びマルチステークホルダー会合（中国　北京）」に参加する。

７月～９月　北九州博覧祭2001の関連事業を実施する。
・JICA研修員による報告「世界から日本へ！日本から未来へ」
・渥美雅子弁護士男女共同参画型講談「山内さんちのパートナーシップ」

９月12日～16日　「第１回北東アジア女性環境会議（韓国　ソウル）」に参加する。

10月６日～７日　「第12回アジア女性会議―北九州」（テーマ：自分らしく健康に生きる～ジェンダーを超えて）を開催する。

11月24日～12月１日　「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）に向けてのハイレベル地域会合及び持続可能な開発に関するアジア太平洋ラウンドテーブル（カンボジア　プノンペン）」に参加する。

11月28日～12月２日　「アフガニスタン女性と子どもの写真展」とアフガニスタンセミナーPart1を開催する。

2002年１月18日　環境シリーズセミナー「リオ＋10　ヨハネスブルグ・サミットにむけて世界の準備状況」を開催する。

２月９日～17日　北九州市と東京で「円卓会議：持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）に向けて」を開催する。

３月１日～10日　第46回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

３月22日　アフガニスタンセミナーPart2を開催する。

３月23日～４月５日　「WSSD第３回準備会合（アメリカ　ニューヨーク）」に参加する。

３月25日～30日　「環境問題を考えるスタディツアー（中国、韓国）」を実施する。

4月1日　北九州市立女性センターの名称を北九州市立男女共同参画センターに変更する。

7月　国連経済社会理事会のNGO協議資格を九州で初めて取得する。

7月31日　国際協力事業団（JICA）国際協力功労者表彰を受賞する。

8月23日～9月5日　「持続可能な開発に関する世界首脳会議」（ヨハネスブルグ・サミット）に参加（フォーラムの主任研究員は日本政府代表の顧問を務めた）し、各国女性NGOとワークショップを開催する。

10月12日～14日　日本・中国・韓国・モンゴルからの女性環境活動家が集い、「第2回北東アジア女性環境会議（第13回アジア女性会議―北九州）」を北九州市と東京で開催する。

2003年3月2日～16日　第47回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

3月16日～21日　第3回世界水フォーラム（京都、滋賀、大阪）に参加する。

5月　「国際協力カレッジ」から名称を変更した「KFAWカレッジ」を開催する。

5月17日　北九州市女性史の編纂を行うため北九州市女性史編纂実行委員会の設立に参画する。

10月11日　財団設立10周年記念事業を実施した。

12日　「第14回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性のエンパワーメントとICT）を開催する。

2004年2月26日～3月13日　第48回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

6月29日～7月4日　「アジア太平洋NGOフォーラム」参加スタディツアー（タイ　バンコク）を実施する。

9月7日～10日　国連アジア太平洋経済社会委員会ハイレベル会議（タイ　バンコク）に参加する。

11月6日～7日　「第15回アジア女性会議―北九州」（テーマ：北京+10に向けて　人間の安性保障とジェンダー）を開催する。

2005年2月28日～3月6日　第49回国連女性の地位委員会（CSW）「北京＋10」閣僚級会合（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

11月5日～6日　「第16回アジア女性会議―北九州」（テーマ：歴史を拓いた女性たち）を開催する。

12月7日　『北九州市女性の100年史　おんなの軌跡　北九州』を発刊する。

2006年1月16日～23日　「インドで考える女性や子どもの人権スタディツアー」を実施する。

2月27日～3月10日　第50回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

2月19日　「ノーベル平和賞受賞者　ワンガリ・マータイさんと語る　北九州市民・環境フォーラム　世界の環境首都をめざして」を開催（エコライフステージ実行委員会との共催）する。

4月1日　北九州市立男女共同参画センターの指定管理者となる。

9月28日　北九州ESD（持続可能な開発のための教育）協議会（44団体）が設立される。

10月　環境省「国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業」の認定を受けた。

10月15日　『新聞にみる北九州市女性の100年史　おんなの軌跡・北九州』を発刊する。

11月11日～12日　北九州市女性史演劇「秋の三色すみれ」を上演する。

11月18日～19日　「第17回アジア女性会議―北九州」（テーマ：公正で豊かな未来を創る～持続可能な開発のための教育とは～）を開催する。

12月5日　国連大学から持続可能な開発のための教育を推進するため、北九州市が「地域の拠点（RCE）」に認定される（日本で4番目）。

2007年2月26日～3月9日　第51回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

3月1日～8日　「アボリジニ女性のエンパワーメントとアートを活かしたまちづくりスタディツアー（オーストラリア）」を実施する。

4月1日　原ひろ子氏が顧問に、三隅佳子氏が第2代会長に、吉崎邦子氏が第5代理事長に、それぞれ就任する。
北九州ESD協議会の事務局となる。

10月12日～16日　持続可能な開発のための教育（ESD）をテーマにスタディーツアー（韓国）を実施する。

11月10日～11日　「第18回アジア女性会議―北九州」（テーマ：つながる ひろがる 地球の未来）を開催する。

12月14日　在福岡アメリカ領事館とミャンマー民主化講演会を共催する。

2008年2月22日～3月7日　第52回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

3月10日～12日　海外拠点づくりの第一歩として姉妹都市の韓国・インチョン広域市を訪問する。

4月　KFAWアジア研究者ネットワーク立ち上げの準備をする。

5月26日　仁川YWCAの一行（11名）が来北する。

6月25日　韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）主催の国際会議に参加・日本の現状を発表する。

9月6日　財団設立15周年記念講演会「アジア・太平洋地域の女性の現状」を実施する。

11月15日　CWPDIと日韓国際セミナーを共同で開催する。

11月15日～16日　「第19回アジア女性会議―北九州」（テーマ：地球を食べる、地球で食べる―あなたは食を通して何を考えますか？）を開催する。

2009年2月27日～3月6日　第53回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、KFAW主席研究員がサイドイベントで「東アジアにおけるケアネットワークの必要性」のテーマで意見発表を行う。

3月31日　北九州ESD協議会事務局が北九州市環境局に移管される。

4月1日　三隅佳子氏が顧問に就任する。

6月　ジェンダー関連研究者のネットワークのキックオフ（KFAWアジア研究者ネットワーク）。

8月6日　北九州YMCAとロシア・チェリャビンスク国立大学東洋学科学生一行（7名）との交流プログラムを実施する。

8月10日　在福岡アメリカ領事館と共催でサマーセミナー「ミッシェル・オバマ；アメリカを変革するファーストレディ」を開催する。

9月13日　第2回日韓国際セミナー「大地から食卓へ―ジェンダーの視点で食の安全を考える」を開催する。

9月29日　北九州市・大連市友好協定30周年記念チャーター便で、大連市婦女連合会一行がムーブ（KFAW）を訪問する。

10月26日　在日シンガポール大使館と共催で国際セミナー「シンガポールの女性はいま」を実施する。

11月２日　CWPDI と学術交流協定を締結する。

11月28日～29日　「第 20 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：現在（いま）、世界の女性たちは―北九州から世界を視（み）る―）を開催する。

2010年２月26日～３月７日　第 54 回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

３月１日　第 54 回国連女性の地位委員会（CSW）パラレルイベントにて、韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）と共同セミナー「女性のエンパワーメントに向けた取組みと課題～日本と韓国の経験から」を開催する。

６月１日　韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）と共同で、2010 CWPDI 開院 11 周年韓日共同セミナー（第３回日韓共同セミナー）「韓日女性の地域における政治参加の拡大政策」を韓国で開催する。

７月30日　中国・大連市婦女連合会を訪問。今後の交流について協議する。

７月　大連市婦女連合会から「北九州市男女共同参画センター設立 15 周年」を祝すメッセージが届く。

10月　東アジア学会 20 周年記念大会にて、賛助会員として表彰される。

11月13日～14日　「第 21 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：世界の子育て―子ども・親・社会のカタチ―）を開催する。

2011年１月22日　北九州市立大学と共催で、国際シンポジウム「国際結婚と多文化共生」を開催する。

１月～２月　KFAW デート DV 予防教育ファシリテーター養成講座を開催する。（全４回）

２月26日～３月３日　第 55 回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、サイドイベント「日本において農林漁業に従事する女性たちのエンパワーメント」において、主席研究員がパネリストとして発表する。

４月１日　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ、北九州市立東部勤労婦人センター、北九州市立西部勤労婦人センターの指定管理者となる。

８月　市内高校、大学等の約 5,000 人を対象に、デート DV 予防教室講師派遣事業を実施する。（～ 2012 年３月）

８月31日　学術交流協定締結機関　韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）を訪問する。

９月１日　韓国・仁川発展研究院を訪問し、交流協力協定を締結する。

11月26日～27日　「第 22 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：災害と向き合う―東日本大震災から学ぶ）を開催する。

11月27日　KFAW 日韓共同研究報告会（第４回日韓セミナー）「子育て支援ネットワーク―日韓比較」を開催する。

12月　女子学生のためのキャリア形成プログラムの作成に着手する。

2012年２月26日～３月４日　第 56 回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、パラレルイベント「日本の農村女性のエンパワーメント―経済のグローバル化と東日本大震災の影響下で」を開催し、主席研究員他が報告する。

11月10日　「第 23 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：力を合わせよう―女性、女児への暴力をなくすために）を開催する。

12月８日　第 23 回 KFAW 研究員報告会を開催する。

2013年２月２日　ワールドリポート（第５回日韓セミナー）「日韓米の多文化共生」を開催する。

３月２日～８日　第57回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、パラレルイベント「アジア女性交流・研究フォーラムのデートDV/DV防止に向けた取り組み」を開催する。

４月１日　**公益財団法人に移行**
第６代理事長に堀内光子氏が就任する。

８月10日　DV防止講演会／デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。

９月～10月　女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学３校で試験的に実施する。

11月９日　財団設立20周年記念事業として、「第24回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性の活躍が日本、世界を変える）を開催する。

11月10日　財団設立20周年記念事業として、北九州市・仁川広域市女性団体文化交流会を開催する。

2014年２月２日　第24回KFAW研究員報告会を開催する。

２月23日～３月２日　KFAWスタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。

４月11日　第58回国際女性の地位委員会（CSW）帰国報告会を開催する。

５月～12月　女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学５校で実施する。

８月10日　DV防止講演会／デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。

10月20日～22日　仁川広域市を訪問し、ジェンダー関連組織・施設への訪問や女性団体主催セミナー及び交流会に参加する。

12月３日～５日　ニューヨーク国連本部経済社会局統計部に協力して、国連ジェンダー統計専門家会合を開催する。

12月６日　「第25回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性の働き方としての起業）を開催する。

2015年1月22日～25日　海外通信員を招へいして、ワールドリポート「いま、アジアの女性たちは～海外通信員を囲んでアジアを知ろう」を開催するとともに、市内の小学生と大学生を対象とした国際交流プログラムを実施する。

２月７日　第25回KFAW研究報告会を開催する。

２月23日～３月４日　KFAWスタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。

５月15日　第59回国連女性の地位委員会（CSW）帰国報告会を開催する。

６月～12月　キャリア形成プログラムを市内大学４校及び市内高校１校で実施する。

６月12日　第26回KFAW研究報告会を開催する。

９月５日～12日　KFAWスタディツアー「ベトナムとカンボジアで学ぶ国際協力」を実施する。

９月19日　DV防止講演会／デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。

10月～2016年3月　「市内製造業の女性活躍推進に関する調査」を実施する。

10月31日　「第26回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性の活躍推進に向けて～アジアと連携して）を開催する。

11月１日　ハノイ女性連盟と北九州市の女性団体との交流会を実施する。

2016年１月23日　ワールドリポート「いま、世界の女性たちは～世界の行政官を囲んで～」を開催する。

２月14日　第27回KFAW研究報告会を開催する。

# 刊行物一覧

## (1) 出版物

### アジア女性研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| アジア女性研究 | 創刊号 | アジアにおける開発と女性 | 1,000 円（品切れ） |
| アジア女性研究 | 第 2 号 | 環境・開発・女性 | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 3 号 | A　地球の未来と人口問題<br>B　アジアの女性と人口問題 | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 4 号 | 女性と家族 | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 5 号 | 女性と労働 | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 6 号 | 女性とメディア | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 7 号 | 女性と教育 | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 8 号 | ジェンダーの視点の主流化をめざして | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 9 号 | 男女共同参画の世紀を拓く | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 10 号 | ジェンダー主流化に向けて | 1,000 円（品切れ） |
| アジア女性研究 | 第 11 号 | ジェンダーと健康 | 1,000 円（品切れ） |
| アジア女性研究 | 第 12 号 | 持続可能な開発―ジェンダーの視点から | 1,000 円（品切れ） |
| アジア女性研究 | 第 13 号 | ICT とジェンダー | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 14 号 | 人間の安全保障とジェンダー | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 15 号 | グローバル化とジェンダー | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 16 号 | ジェンダーと政治（ポリティクス） | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 17 号 | 福祉とジェンダー | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 18 号 | 科学とジェンダー | 1,000 円 |
| アジア女性研究 | 第 19 号 | | ※ |
| アジア女性研究 | 別冊 | アジア女性学の動向 | 200 円 |
| アジア女性研究 | 第 20 号 | | ※ |
| アジア女性研究 | 第 21 号 | | ※ |
| アジア女性研究 | 第 22 号 | | ※ |
| アジア女性研究 | 第 23 号 | | ※ |
| アジア女性研究 | 第 24 号 | | ※ |
| アジア女性研究 | 第 25 号 | | ※ |

※ホームページからダウンロードできます。

### KFAW 調査研究報告書

| | | |
|---|---|---|
| No.2010-1 | インド、ケーララ州の女子教育とジェンダー平等―現状と課題― | ※ |
| No.2010-2 | 日本の犯罪報道における女性　全国紙・地方紙の場合 | ※ |
| No.2010-3 | 外国籍女性とその子ども達の社会包摂<br>―福岡県のフィリピン人およびタイ人女性の　多文化共生― | ※ |
| No.2011-1 | Women's Empowerment through Collective Actions: The Case of Makthal Federation in Andhra Pradesh, India ［女性のエンパワーメントのための問題解決型アプローチ―インド、アンドラ・プラデシュ州、マクタール女性連盟を事例として―］ | ※ |
| | Federations as Collective Actions of *Sanghams*: The Case of Makthal in Andhra Pradesh | |
| No.2012-1 | ジェンダー主流化に向けたアクションとアウトカム<br>―JICA 集団研修「ジェンダー主流化」フォローアップ調査をもとに― | ※ |
| | Promoting Gender Mainstreaming around the World: Results of a Follow-up Survey on the JICA Training Course on Gender Mainstreaming | |
| No.2012-2 | 農村女性起業家の事業継続を支援するための調査・分析・ネットワーク開発に関する研究 | ※ |
| No.2012-3 | アジア地域における移行経済国から日本への女性の結婚移住<br>―インドシナ難民家族と滞日中国人家族における移民女性の事例から― | ※ |

| | | |
|---|---|---|
| No.2013-1 | 津波被災地の復興における女性の役割<br>―インドネシアのアチェ州と東北地方の比較を通して― | ※ |
| No.2013-2 | 現代台湾における子育てをめぐる言説の諸相とジェンダー | ※ |
| No.2014-1 | 夫婦間の性別役割分業はなぜ変わらないのか<br>―既婚女性へのインタビュー調査から探る― | ※ |
| No.2014-2 | グローバリゼーションに対する認識と英語力<br>―日本人女性と韓国人女性との比較― | ※ |
| No.2015-1 | 地域における女性団体の活動に関する研究<br>―北九州市の女性団体を中心に― | ※ |
| No.2015-2 | 移住によって潜在能力は発揮できるか？<br>―ジェンダーの視点で見た滞日ネパール人の特徴― | ※ |
| No.2015-3 | 台湾・マレーシアにおける暴力被害者支援の研究 | ※ |

※ホームページからダウンロードできます。

## Journal of Asian Women's Studies

| | | |
|---|---|---|
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 1* | Women in Development in Asia | 800 円 |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 2* | Environment, Development and Women | 1,000 円 |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 3* | Population and Our Earth's Future<br>Women's Reproductive Rights and Population Problems in Asia | 1,000 円 |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 4* | Women and Family | 1,000 円 |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 5* | | 1,000 円（品切れ） |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 6 & 7* | | 1,500 円（品切れ） |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 8* | | 1,000 円 |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 9* | | 1,000 円（品切れ） |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 10* | Women / Gender and Globalization | 1,000 円（品切れ） |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 11* | Participation and Good Governance: Environmental Issues from a Gender Perspective | 1,000 円（品切れ） |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 12* | Cairo+10: Reviewing Reproductive Health and Rights | 1,000 円 |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 13* | ICT and Gender | 1,000 円 |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 14* | | 1,000 円 |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 15* | | 1,000 円 |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 16* | | 1,000 円 |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 17* | Welfare and Gender | 1,000 円 |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 18* | E-journal | ※ |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 19* | E-journal | ※ |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 20* | E-journal | ※ |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 21* | E-journal | ※ |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 22* | E-journal | ※ |
| *Journal of Asian Women's Studies Vol. 23* | E-journal | ※ |

※ホームページからダウンロードできます。

## 環境シリーズ

| | |
|---|---|
| アジアにおける環境と女性―実践実例集― | 500 円 |
| 地球温暖化対策の未来 | 500 円 |
| ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさんと語る<br>北九州市民・環境フォーラム　世界の環境首都をめざして　記録 | 300 円 |
| 「持続可能な開発のための教育」～(財)アジア女性交流・研究フォーラムの活動記録～ | 非売品 |

## 農業女性シリーズ

| | |
|---|---|
| アジアの農業女性のエンパワーメント―韓国と中国からの報告― | 1,000 円 |
| Empowerment of Female Farmers in Asia―Korea and China― | 1,500 円（品切れ） |
| Empowerment of Female Farmers in Asia―Vietnam and Thailand― | 1,500 円 |

## アジアのドメスティック・バイオレンスシリーズ

| | |
|---|---|
| アジアのドメスティック・バイオレンス（ハードカバー） | 2,500 円 |
| アジアのドメスティック・バイオレンス（ペーパーバック） | 2,000 円 |
| Domestic Violence in Asia―A Report from Korea and Cambodia― | 800 円 |

## アジア家族研究シリーズ

| | |
|---|---|
| 日本と韓国の家族意識の比較研究―福岡・ソウル調査を中心に― | 2,000 円 |
| A Comparative Study on the Family Consciousness between Korea and Japan ―Centered on Seoul and Fukuoka― | 2,000 円 |
| 現代タイの家族意識の研究―バンコク・ソウル・福岡調査の比較と共に― | 2,000 円 |
| A Study of Family Consciousness in Contemporary Thailand ―With Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka― | 2,000 円 |
| 現代中国における都市家族の意識と生活に関する研究 ―北京調査及びバンコク・ソウル・福岡との比較― | 2,000 円 |
| A Study on Life and Consciousness of Contemporary Urban Family in China ―A Research in Beijing with Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka― | 2,000 円（品切れ） |
| アジアの経済発展と家族及びジェンダー | 1,000 円 |
| The Influences of Economic Development upon Women and Families ―Experiences in Seven Asian Countries― | 2,000 円 |
| マレーシアの経済開発と家族及びジェンダー―経済危機の前夜まで― | 2,000 円 |
| Effects of Socio-Economic Development on Family and Gender Relations Before Economic Crisis in Malaysia―Focusing on Kuala Lumpur― | 2,000 円 |
| アジアの経済発展と家族及びジェンダー―改訂版― | 1,200 円 |

## アジアの働く女性シリーズ

| | |
|---|---|
| パキスタンの働く女性―綿摘み女性労働者と縫製業の女性労働者― | 1,000 円 |
| ベトナムの働く女性―ホーチミン市縫製工場の女性移住労働者― | 1,000 円 |
| フィリピンミンダナオ北部における経済開発と女性 ―開発における社会・経済ジェンダー分析（SEGA）モデルの検証― | 1,000 円 |

## 客員研究員研究

| | |
|---|---|
| マレーシアとシンガポールにおける女性と政治 ―ナショナリズム・国家建設・ジェンダー― | 1,000 円 |
| 中国における社会福祉政策の展開状況に関する研究 | 1,000 円 |
| Globalization の新潮流と「環境保全型経済発展の課題」 ―東南アジア諸国における「中間階層」の増大との関連で― | 1,000 円（品切れ） |
| 上海市女性高齢者生活状況に関する訪問調査 | 1,000 円 |
| アウンサンスーチーの思想と行動 | 1,000 円 |
| アウンサンスーチーの思想と行動（ビルマ語付） | 1,500 円（品切れ） |
| グローバリゼーションの新潮流と環境保全型経済発展の課題 ―東南アジア諸国の事例で― | 1,000 円 |
| ミャンマーにおける女性の地位 | 1,000 円 |
| インドにおける生涯にわたる健康とジェンダー | 1,000 円 |
| インドの経済開発と再生可能エネルギー利用―女性の社会的役割の増大する中で― | 1,000 円 |

| | |
|---|---|
| 女性労働者の非正規化に関する日韓比較<br>—労働市場と女性政策、職場のジェンダー構造化の分析— | 非売品 |
| 「法」・「貧困」・「ジェンダー」：法多元主義と正義へのアクセス | 非売品 |
| フィリピンとミャンマーにおける、若者および女性を対象とした HIV ／ AIDS 対策に関する調査研究 | 非売品 |
| 「権利をよりどころにするアプローチ」の展開とアジアの女性のエンパワーメント | ※ |
| 大連市に進出の日本企業における現地採用女性従業員の労働実態と企業の社会的責任 | ※ |
| 表現アートセラピーを応用したリサーチ手法の可能性<br>—人身売買被害者の「＜ほんもの＞の語り」— | ※ |
| 東北アジアにおけるジェンダー予算の動向—日本、韓国、台湾を事例として | ※ |
| 中央アジア諸国におけるコミュニティ研究—ジェンダーの視点から—<br>（ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、キルギスの事例より） | ※ |
| 自治体の入札・契約におけるポジティブ・アクション評価による男女共同参画推進に関する比較研究 | ※ |
| 東南アジアから東アジアへの国際移動と再生産労働の変容<br>—韓国・台湾・日本の比較研究— | ※ |
| 内戦・津波災害下のこどもの健康<br>—スリランカ、トリンコマレ県の実態調査に見る性差— | ※ |

※ホームページからダウンロードできます。

## 起業家シリーズ

| | |
|---|---|
| 私の起業体験—きたきゅうしゅう・ふくおかの女性起業家たち— | 1,000 円 |
| アジアの女性起業家 | 1,000 円 |
| Women Entrepreneurs in Selected Asian Countries | 1,000 円 |

## アジア女性シリーズ

| | |
|---|---|
| No. 1「中国の女性」 | 1,000 円 |
| No. 2「スリランカの女性」 | 1,000 円 |
| No. 3「インドネシアの女性」 | 1,000 円 |
| No. 4「韓国の女性」 | 1,000 円 |
| No. 5「フィリピンの女性」 | 1,000 円 |
| No. 6「バングラデシュの女性」 | 1,000 円 |
| No. 7「ベトナムの女性」 | 1,000 円 |
| No. 8「タイの女性」 | 1,000 円 |
| No. 9「中国の女性（改訂版）」 | 1,000 円 |
| No. 10「シンガポールの女性」 | 1,000 円 |
| No. 11「マレーシアの女性」 | 1,000 円 |
| No. 12「インドの女性」 | 1,000 円 |

## 海外通信員レポート集

| | |
|---|---|
| Vol. 1 (1991-1992) | 500 円 |
| Vol. 2 (1992-1993)「家族教育と女性」 | 800 円 |
| Vol. 3 (1993-1994)「教育と女性」 | 800 円 |
| Vol. 4 (1994-1995)「女性と家族」 | 800 円 |
| Vol. 5 (1995-1996)「女性と労働」 | 800 円 |
| Vol. 6 (1996-1997)「女性とエンパワーメント」 | 800 円 |
| Vol. 7 (1997-1998)「女性とエンパワーメント」 | 800 円 |
| Vol. 8 (1998-1999)「女性と起業家」 | 800 円 |
| Vol. 9 (1999-2000)「高齢者と子ども」 | 800 円 |

| | |
|---|---|
| Vol. 10 (2000-2001)「環境と女性」 | 800 円 |
| Vol. 11 (2001-2002)「健康と女性」 | 非売品 |

**中間階層の研究シリーズ**

| | |
|---|---|
| 現代フィリピンにおける「中間階層」の研究 | 1,000 円 |
| 現代タイにおける「中間階層」の研究 | 1,000 円 |
| 現代インドネシアにおける「中間階層」の研究 | 1,000 円 |
| 現代マレーシアにおける「中間階層」の研究 | 1,000 円 |
| 現代シンガポールにおける「中間階層」の研究 | 1,000 円 |
| 東南アジアにおける「中間階層」の研究 | 1,000 円 |

**その他**

| | |
|---|---|
| Princess Sunflower | 1,500 円 |
| おんなの軌跡北九州―北九州市女性の 100 年史― | 3,000 円 |

## (2) ビデオ

**国際理解のための教材ビデオ**（解説書つき）　ライブラリー価格 10,000 円

| | 通常価格 |
|---|---|
| 中国の子どもたち／スリランカのサボミちゃん | 3,000 円（品切れ） |
| 素顔の韓国／ほほ笑みの国・タイ | 3,000 円（品切れ） |
| インドネシアの子どもたち／共に生きるアジアの隣人 | 3,000 円（品切れ） |
| 陽気なフィリピンの子どもたち／手と手を結ぼう | 3,000 円 |
| こんにちはマレーシアの子どもたち／マレーシアってどんな国？ | 3,000 円 |
| 多文化社会の子どもたち／オーストラリアってどんな国？ | 3,500 円 |
| シンチャオ こんにちはベトナム／ベトナムの子どもたち ―いちばん大切なものはなに？― | 3,500 円 |

※全て税込価格です。
　出版物、ビデオを郵送する場合、送料が別途かかります。

# 海外とのネットワーク

110 カ国　3 地域　延べ 1,165 人（2016 年 3 月末まで）

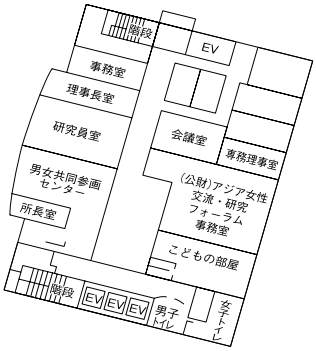
| | |
|---|---|
| 合計 | 1,165 |
| 国（110） | 1,148 |
| 地域（3） | 17 |

| | | |
|---|---|---|
| アジア　21 カ国 | | 794 |
| 1 | インド | 56 |
| 2 | インドネシア共和国 | 54 |
| 3 | カンボジア王国 | 28 |
| 4 | シンガポール共和国 | 31 |
| 5 | スリランカ民主社会主義共和国 | 35 |
| 6 | タイ王国 | 66 |
| 7 | 大韓民国 | 102 |
| 8 | 中華人民共和国 | 85 |
| | （うち香港特別行政区） | 8 |
| 9 | ネパール連邦民主共和国 | 56 |
| 10 | パキスタン・イスラム共和国 | 35 |
| 11 | バングラデシュ人民共和国 | 45 |
| 12 | 東ティモール民主共和国 | 2 |
| 13 | フィリピン共和国 | 90 |
| 14 | ブータン王国 | 2 |
| 15 | ブルネイ・ダルサラーム国 | 2 |
| 16 | ベトナム社会主義共和国 | 34 |
| 17 | マレーシア | 34 |
| 18 | ミャンマー連邦共和国 | 9 |
| 19 | モルディブ共和国 | 7 |
| 20 | モンゴル国 | 14 |
| 21 | ラオス人民民主共和国 | 7 |
| 北米　2 カ国 | | 84 |
| 1 | アメリカ合衆国 | 80 |
| 2 | カナダ | 4 |
| 中南米　16 カ国 | | 51 |
| 1 | ウルグアイ東方共和国 | 6 |
| 2 | エルサルバドル共和国 | 1 |
| 3 | コスタリカ共和国 | 2 |
| 4 | コロンビア共和国 | 1 |
| 5 | ジャマイカ | 1 |
| 6 | スリナム共和国 | 3 |
| 7 | セントルシア | 1 |
| 8 | チリ共和国 | 4 |
| 9 | ニカラグア共和国 | 1 |
| 10 | ハイチ共和国 | 2 |
| 11 | パナマ共和国 | 3 |
| 12 | パラグアイ共和国 | 1 |
| 13 | ブラジル連邦共和国 | 12 |
| 14 | ペルー共和国 | 6 |
| 15 | ホンジュラス共和国 | 1 |
| 16 | メキシコ合衆国 | 6 |
| 欧州（NIS 諸国を含む）　22 カ国 | | 52 |
| 1 | アルバニア共和国 | 3 |
| 2 | 英国（グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国） | 9 |
| 3 | イタリア共和国 | 2 |
| 4 | ウズベキスタン共和国 | 2 |
| 5 | オランダ王国 | 4 |
| 6 | キプロス共和国 | 1 |
| 7 | キルギス共和国 | 2 |
| 8 | クロアチア共和国 | 1 |
| 9 | コソボ共和国 | 4 |
| 10 | タジキスタン共和国 | 2 |
| 11 | チェコ共和国 | 1 |
| 12 | デンマーク王国 | 1 |
| 13 | ドイツ連邦共和国 | 2 |
| 14 | ノルウェー王国 | 2 |
| 15 | フィンランド共和国 | 3 |
| 16 | ボスニア・ヘルツェゴビナ | 5 |
| 17 | ポルトガル共和国 | 1 |
| 18 | マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 | 1 |
| 19 | モルドバ共和国 | 1 |
| 20 | ロシア連邦 | 2 |
| 21 | ジョージア | 2 |
| 22 | スイス連邦 | 1 |
| 大洋州　9 カ国 | | 53 |
| 1 | オーストラリア連邦 | 18 |
| 2 | キリバス共和国 | 1 |
| 3 | サモア独立国 | 3 |
| 4 | ソロモン諸島 | 3 |
| 5 | パプアニューギニア独立国 | 14 |
| 6 | パラオ共和国 | 1 |
| 7 | バヌアツ共和国 | 2 |
| 8 | フィジー諸島共和国 | 10 |
| 9 | ミクロネシア連邦 | 1 |
| 中東　8 カ国 | | 28 |
| 1 | アフガニスタン・イスラム共和国 | 7 |
| 2 | イエメン共和国 | 2 |
| 3 | イスラエル国 | 1 |
| 4 | イラク共和国 | 1 |
| 5 | イラン・イスラム共和国 | 3 |
| 6 | シリア・アラブ共和国 | 1 |
| 7 | トルコ共和国 | 5 |
| 8 | ヨルダン・ハシェミット王国 | 8 |
| アフリカ　32 カ国 | | 86 |
| 1 | アルジェリア民主人民共和国 | 1 |
| 2 | ウガンダ共和国 | 6 |
| 3 | エジプト・アラブ共和国 | 1 |
| 4 | エリトリア国 | 1 |
| 5 | ガーナ共和国 | 8 |
| 6 | ガボン共和国 | 1 |
| 7 | カメルーン共和国 | 2 |
| 8 | ケニア共和国 | 10 |
| 9 | コートジボワール共和国 | 4 |
| 10 | コンゴ共和国 | 1 |
| 11 | コンゴ民主共和国（旧ザイール） | 2 |
| 12 | サントメ・プリンシペ民主共和国 | 1 |
| 13 | ザンビア共和国 | 3 |
| 14 | ジンバブエ共和国 | 2 |
| 15 | スワジランド王国 | 3 |
| 16 | 赤道ギニア共和国 | 1 |
| 17 | セネガル共和国 | 1 |
| 18 | タンザニア連合共和国 | 4 |
| 19 | チャド共和国 | 2 |
| 20 | 中央アフリカ共和国 | 1 |
| 21 | ナイジェリア連邦共和国 | 9 |
| 22 | ニジェール共和国 | 4 |
| 23 | ブルキナファソ | 2 |
| 24 | ブルンジ共和国 | 1 |
| 25 | ベナン共和国 | 1 |
| 26 | ボツワナ共和国 | 1 |
| 27 | マダガスカル共和国 | 1 |
| 28 | マラウイ共和国 | 5 |
| 29 | マリ共和国 | 2 |
| 30 | 南アフリカ共和国 | 3 |
| 31 | モーリシャス共和国 | 1 |
| 32 | モーリタニア・イスラム共和国 | 1 |
| 地域　3 地域 | | 17 |
| 1 | イギリス領ヴァージン諸島 | 1 |
| 2 | 台湾 | 13 |
| 3 | パレスチナ（PLO） | 3 |

# 施設案内

北九州市大手町ビルは地上 10 階、地下 2 階建てで、平成 7 年 7 月に開館しました。
1 階から 5 階までが北九州市立男女共同参画センター・ムーブで、公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムは 3 階に入居しています。

３階　FLOOR GUIDE




主　な　施　設

| | | |
|---|---|---|
| ９・10Ｆ | 北九州市立大手町練習場 | |
| ８Ｆ | 北九州市人権推進センター | |
| ６・７Ｆ | (公財)アジア成長研究所 | |
| ５Ｆ | | 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ |
| ４Ｆ | | 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ |
| ３Ｆ | **(公財)アジア女性交流・研究フォーラム** | 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ |
| ２Ｆ | | 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ |
| １Ｆ | | 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ |
| Ｂ1･2Ｆ | 地下駐車場（有料・100台収容） | |

## アクセス

①JR西小倉駅より
1）徒歩約15分
2）西鉄バス
・西小倉駅前　ソレイユホール・ムーブ前下車
27、45、76、110、134、138、150、170、175、197

②JR小倉駅より
1）西鉄バス
・小倉駅バスセンター　ソレイユホール・ムーブ前下車
27、45、110、134、138
・小倉駅入口　ソレイユホール・ムーブ前下車
76、150、170、175、197

③北九州都市高速道路　勝山ランプ/大手町ランプより約3分

# 指定管理施設の案内

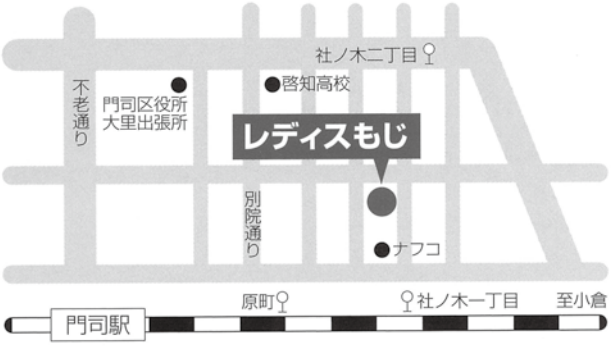
## 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

北九州市立
男女共同参画センター
ムーブ

〒803-0814
北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL(093)583-3939
FAX(093)583-5107

ホームページアドレス
http://www.kitakyu-move.jp
E-mail:move@move-kitakyu.jp

## 北九州市立東部勤労婦人センター レディスもじ



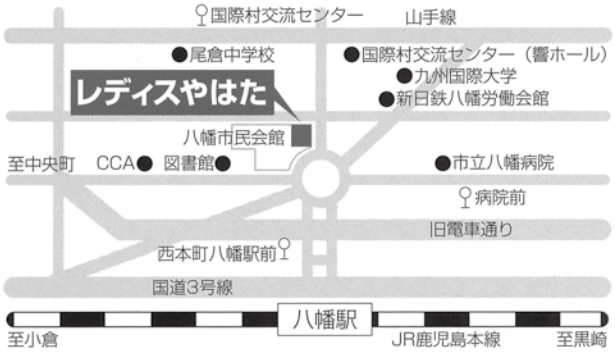

■交通機関／ＪＲ…門司駅から車で5分
西鉄バス…社ノ木一丁目・二丁目から徒歩3分

**レディスもじ**

〒800-0051　北九州市門司区下馬寄6番8号
TEL (093) 371-4649（みないっしょ よろしく）
FAX (093) 371-4268

ＵＲＬ：http://kinroufujin-kitakyu.jp/moji
E-mail：moji@kinroufujin-kitakyu.jp

## 北九州市立西部勤労婦人センター レディスやはた




■交通機関／ＪＲ…八幡駅から徒歩で10分
西鉄バス…
西本町、八幡駅前、市立八幡病院、国際村交流センターから徒歩3～5分

**レディスやはた**

〒806-0059　北九州市八幡東区尾倉二丁目6-6
TEL (093) 661-1122
FAX (093) 661-2714

ＵＲＬ：http://kinroufujin-kitakyu.jp/yahata
E-mail：yahata@kinroufujin-kitakyu.jp

**（公財）アジア女性交流・研究フォーラム**
**平成 27（2015）年度 年報**

発　　行　（公財）アジア女性交流・研究フォーラム
〒 803-0814　北九州市小倉北区大手町 11-4
TEL（093）583-3434
FAX（093）583-5195
URL http://www.kfaw.or.jp
発　行　月　平成 28 年 8 月

公益財団法人
アジア女性交流・研究フォーラム
KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 北九州市大手町ビル3階
電話　093−583−3434　FAX　093−583−5195
E-mail: kfaw@kfaw.or.jp　ホームページ http://www.kfaw.or.jp